

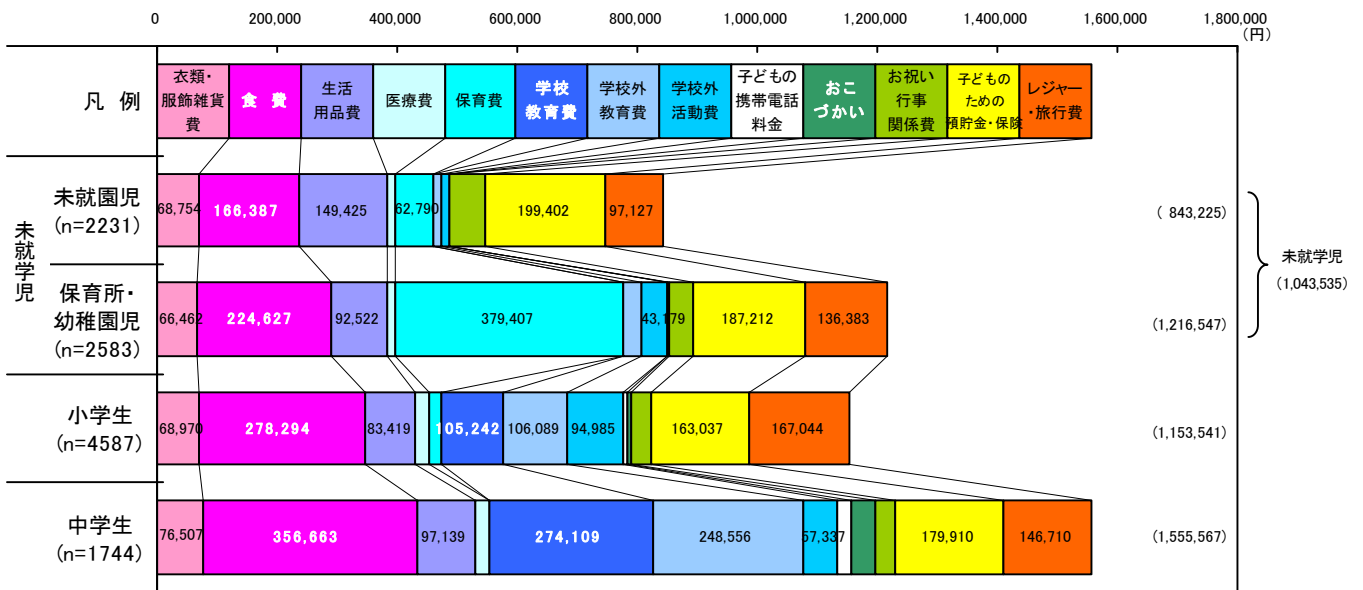
第3章 調査結果

1. 第1子一人当たりの年間子育て費用額

子育て費用が最もかかるのは「中学生」で、未就学児の約1.5倍

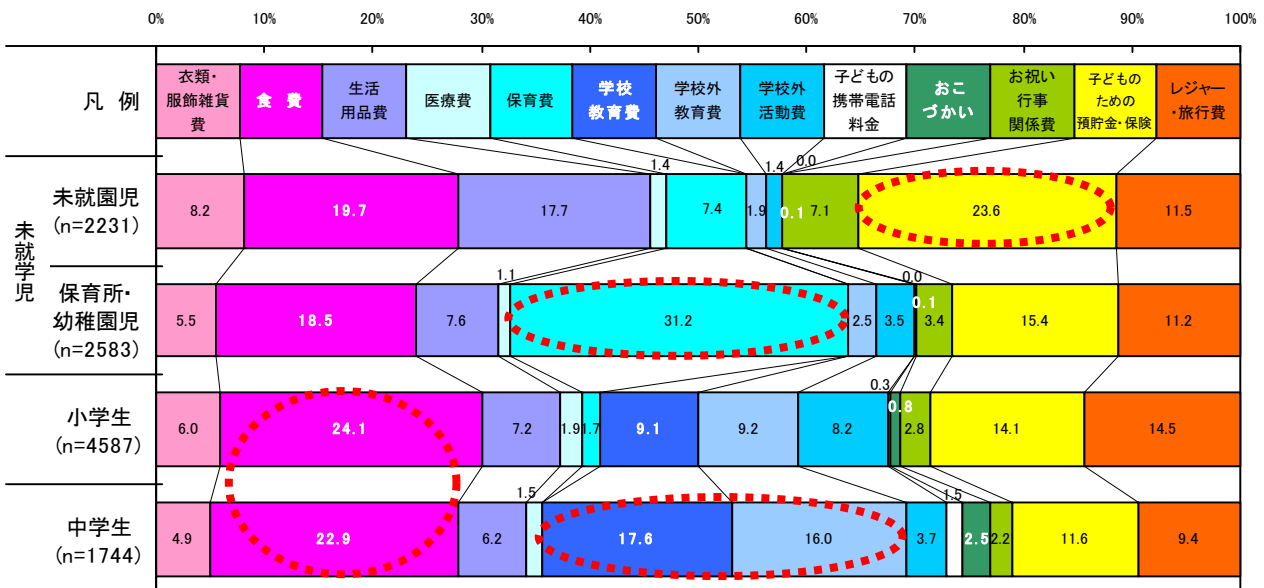
- 未就学児の一人当たり年間子育て費用総額は 1,043,535 円。未就学児のうち、未就園児では一人当たり 843,225 円。保育所・幼稚園児では約 37 万円多くなり、一人当たり 1,216,547 円。
- 小学生は一人当たり 1,153,541 円とむしろ保育所・幼稚園児よりやや少なくなるが、中学生では約 40 万円多くなり一人当たり 1,555,567 円。未就学児の約 1.5 倍となる。
- 子育て費用の内訳で就学区ごとに比重の高い費目は、未就園児は「子どものための預貯金・保険」「生活用品費」、保育所・幼稚園児は「保育費」、小・中学生は「食費」。中学生は「学校教育費」「学校外教育費」の比重も高い。

図表 1-1. 第1子一人当たりの年間子育て費用額 (対象者全体平均)【第1子の就学区別別】



子育て費用は第1子の子育てにかかった金額で、上記は対象者全体による平均値
グラフ右の()内は第1子にかかった年間子育て費用総額

図表 1-2. 第1子一人当たりの年間子育て費用の費目別割合 (対象者全体平均)【第1子の就学区別別】

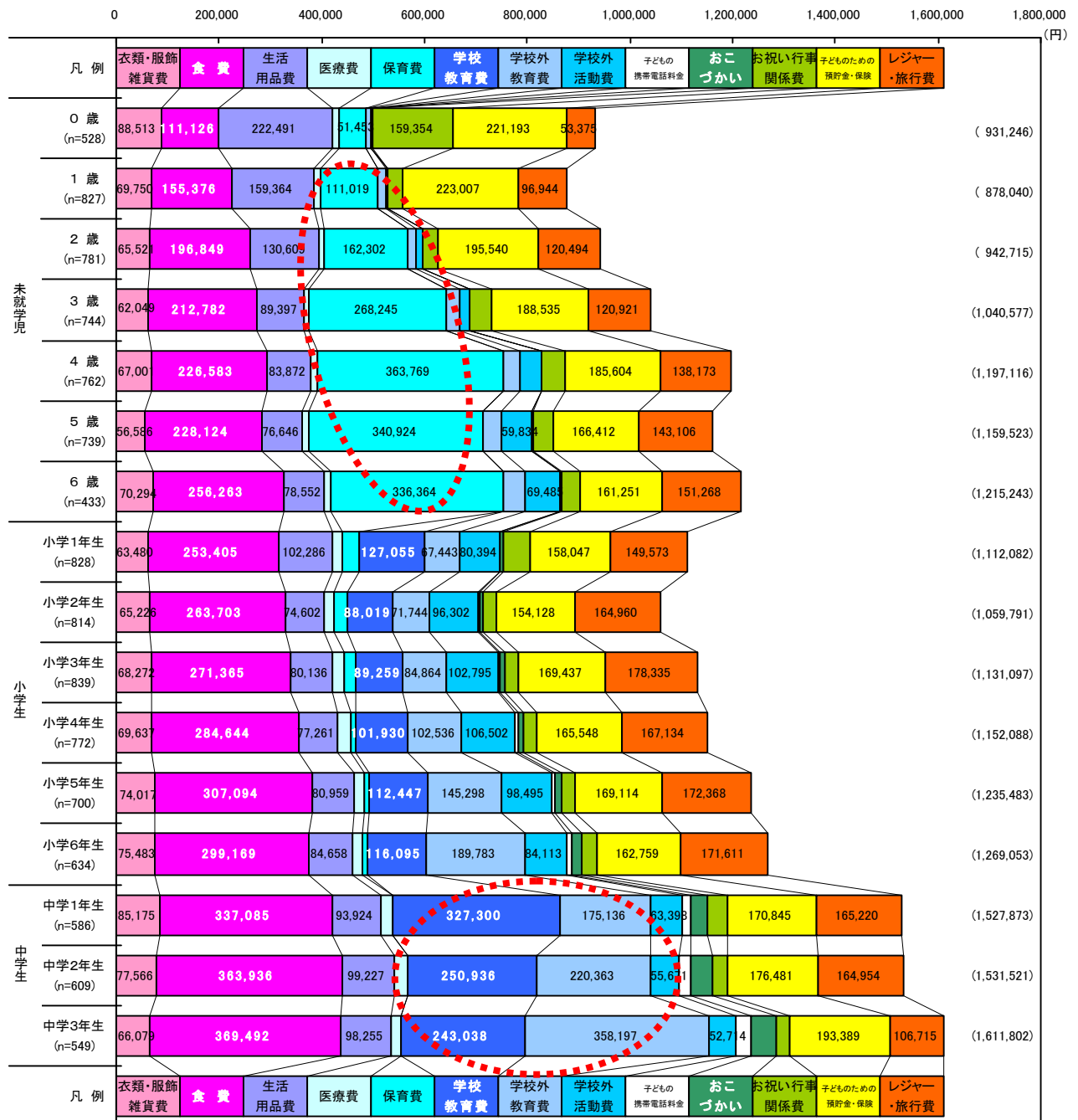


上記は子育て費用総額に占める中分類費目別の割合

就学前は「保育費」負担が大。小学生で大幅増減はないが、中学生では「教育費」が増大

- 1歳以上の未就学児は「保育費」の支出が目立ち、3歳で年間20万円超、4～6歳は年間30万円超。「保育費」の負担増が子育て費用総額の増加につながっている。
- 小学生になると「学校教育費」がかかるようになるが、未就学児の「保育費」に比べると支出額は少ない。
- 一方、中学生は小学生に比べて「学校教育費」が高額になり、中学1年生で年間約33万円、同2・3年生は年間約25万円。「学校外教育費」も1学年ごとに多くなり、中学3年生では年間約36万円となる。
- 「子どものための預貯金・保険」については、どの年齢・学年においても一定の額を支出している。

図表 1-3 . 第1子一人当たりの年間子育て費用額 (対象者全体平均)【第1子の年齢・学年別】

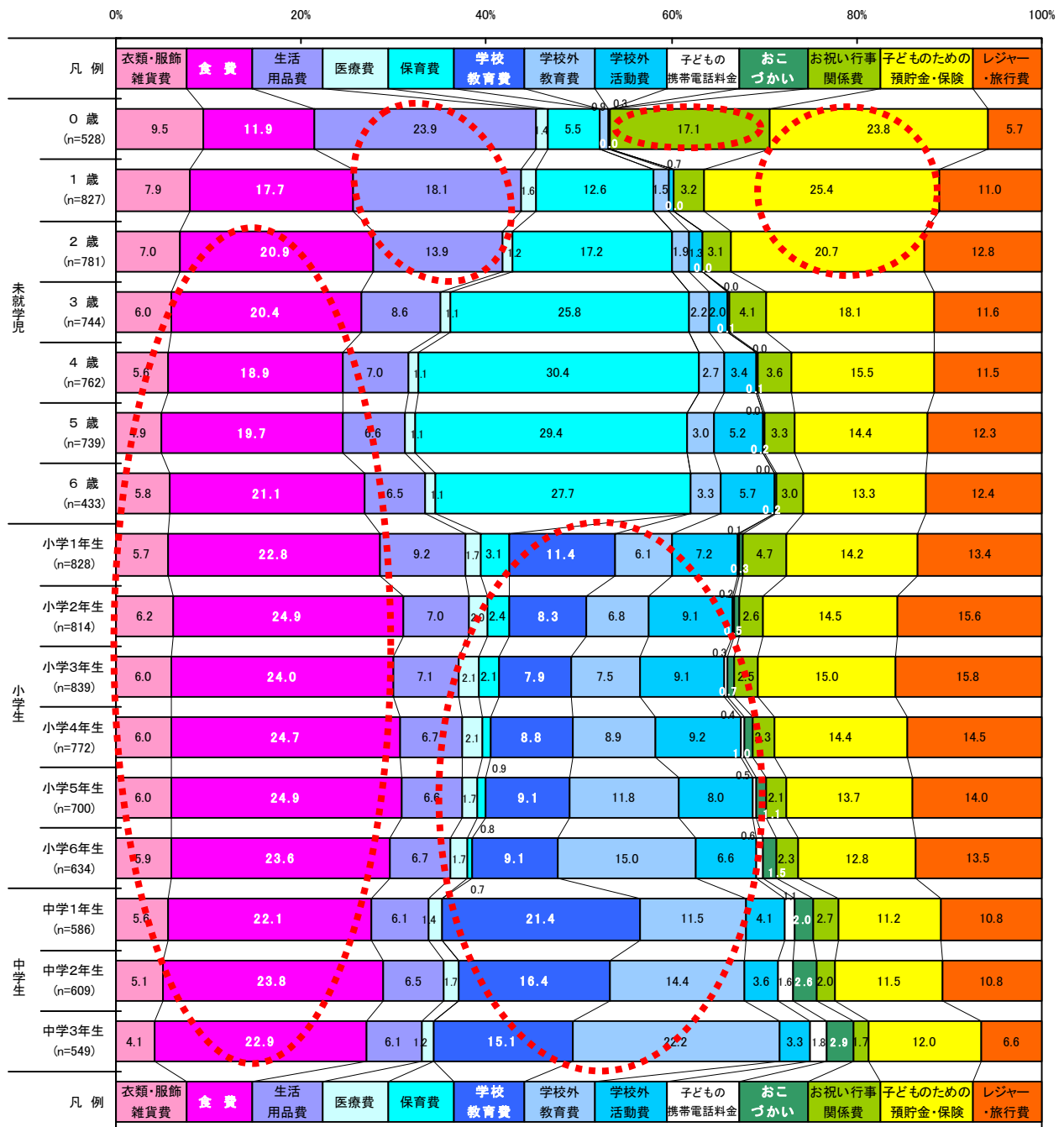


子育て費用は第1子の子育てにかかった金額で、未就学児は1歳階級の年齢ごとに、小・中学生は1学年ごとに集計
 上記は対象者全体による平均値
 グラフ右の()内は第1子にかかった年間子育て費用総額

0～2歳は「生活用品費」の支出割合が高い

- 「衣類・服飾雑貨費」「食費」の支出割合は、2歳以上で大きく変動せずほぼ一定。
- 0～2歳は、他の層に比べて「生活用品費」の支出割合が高い。これはおむつなど消耗品の消費が多いためと考えられる。また、「子どものための預貯金・保険」の支出割合も高い。
- 0歳は出産祝い（内祝い、宮参り等）に関する支出があるため、「お祝い行事関係費」の支出割合が高い。
- 中学生になると「学校教育費」の支出割合が高くなり、小・中学生とも学年が上がるにつれて「学校外教育費」の支出割合が高くなっている。

図表1-4. 第1子一人当たりの年間子育て費用の費目別割合（対象者全体平均）【第1子の年齢・学年別】



上記は年齢・学年ごとの子育て費用総額に占める中分類費目別の割合

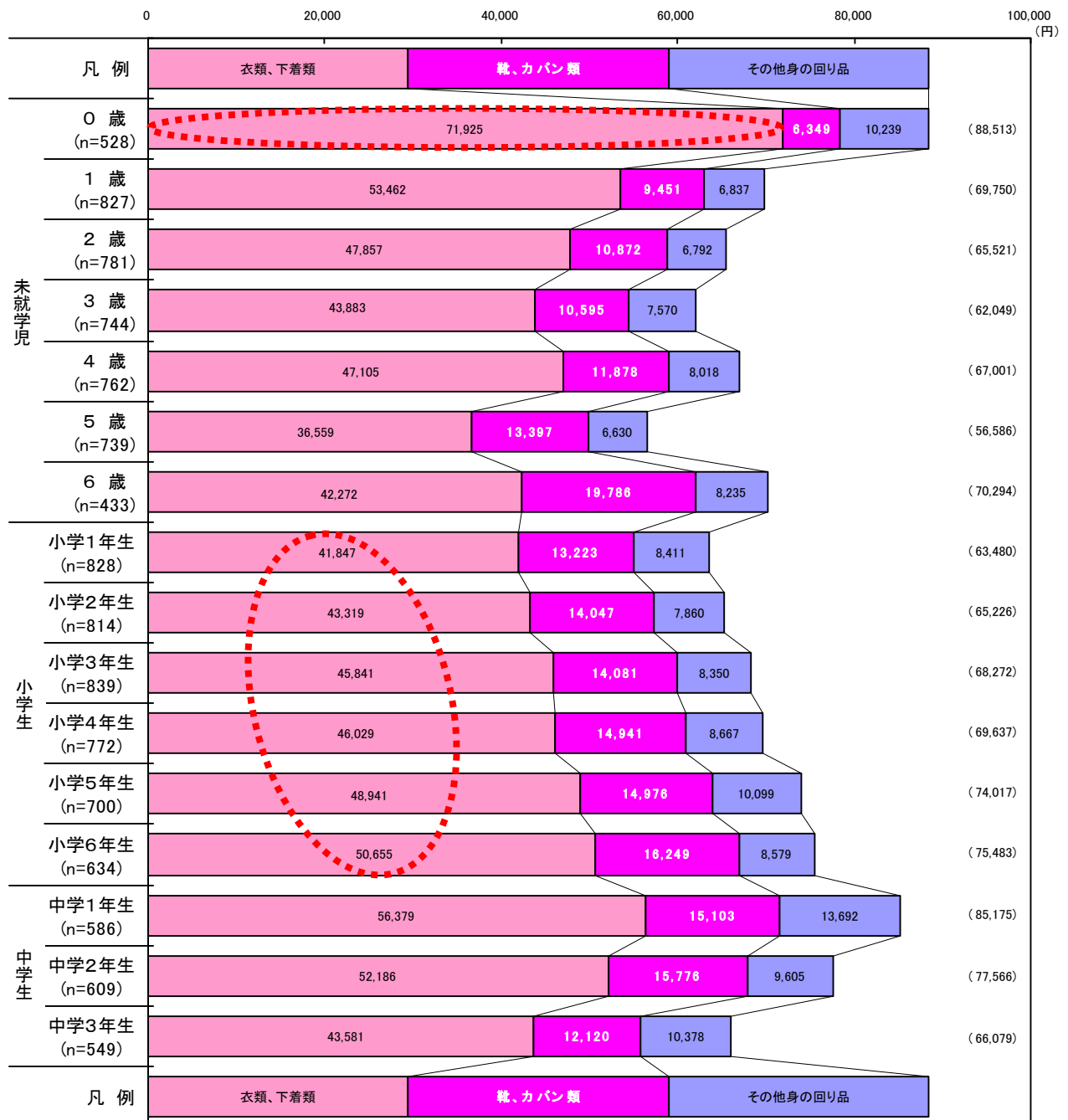
2. 年間子育て費用額・中分類費目ごとの特徴

(1) 衣類・服飾雑貨費

「衣類、下着類」の支出額は、成長期の年齢・学年で多い

- 0歳は、他の層に比べて「衣類、下着類」の支出額が多い。成長が早く、消耗度も高いためと考えられる。
- 「衣類、下着類」の支出額は小学生になると学年が上がると共に微増し、中学1年生をピークに微減に転じる。成長と共にサイズが変わっていくが、思春期の頃には身体の成長も安定するため、買い替え頻度が低下するためと考えられる。

図表 2-1. 第1子一人当たりの年間「衣類・服飾雑貨費」の内訳金額（対象者全体平均）【第1子の年齢・学年別】



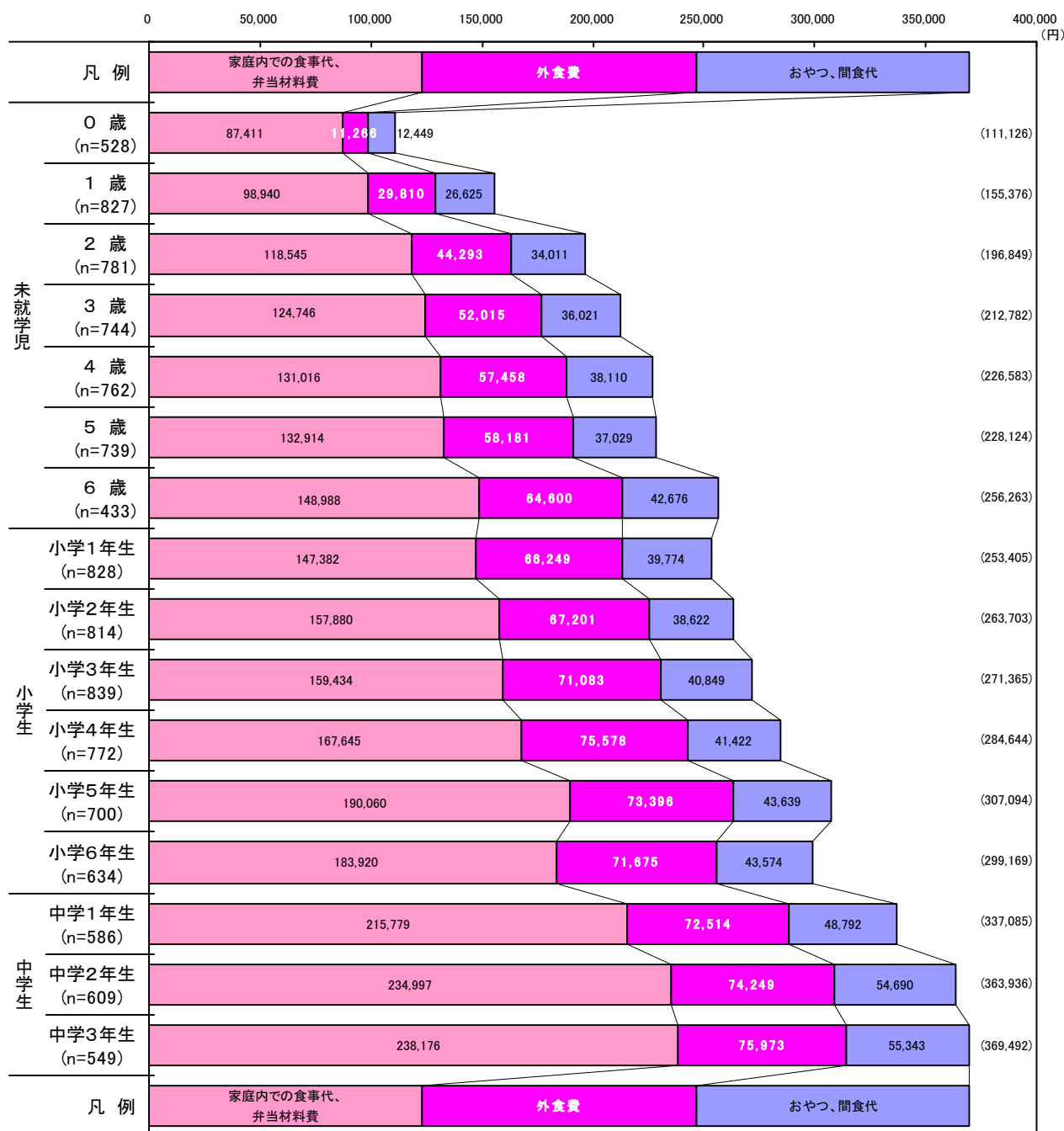
「衣類、下着類」「靴、カバン類」「その他身の回り品」は「衣類・服飾雑貨費」の小分類費目
 上記は対象者全体による平均値 グラフ右の()内は第1子にかかった「衣類・服飾雑貨費」の年額

(2) 食費

「食費」は、子どもの年齢・学年が高いほど多い

- 年齢・学年が上がるにつれて、「食費」はどの費目も増加傾向。特に中学生は、小学生よりも「家庭内での食事代、弁当材料費」「おやつ、間食代」の金額が増加している。
- 0歳の「食費」は年間約11万円だが、中学生は年間約36万円と、約3倍になっている。

図表2-2. 第1子一人当たりの年間「食費」の内訳金額(対象者全体平均)【第1子の年齢・学年別】



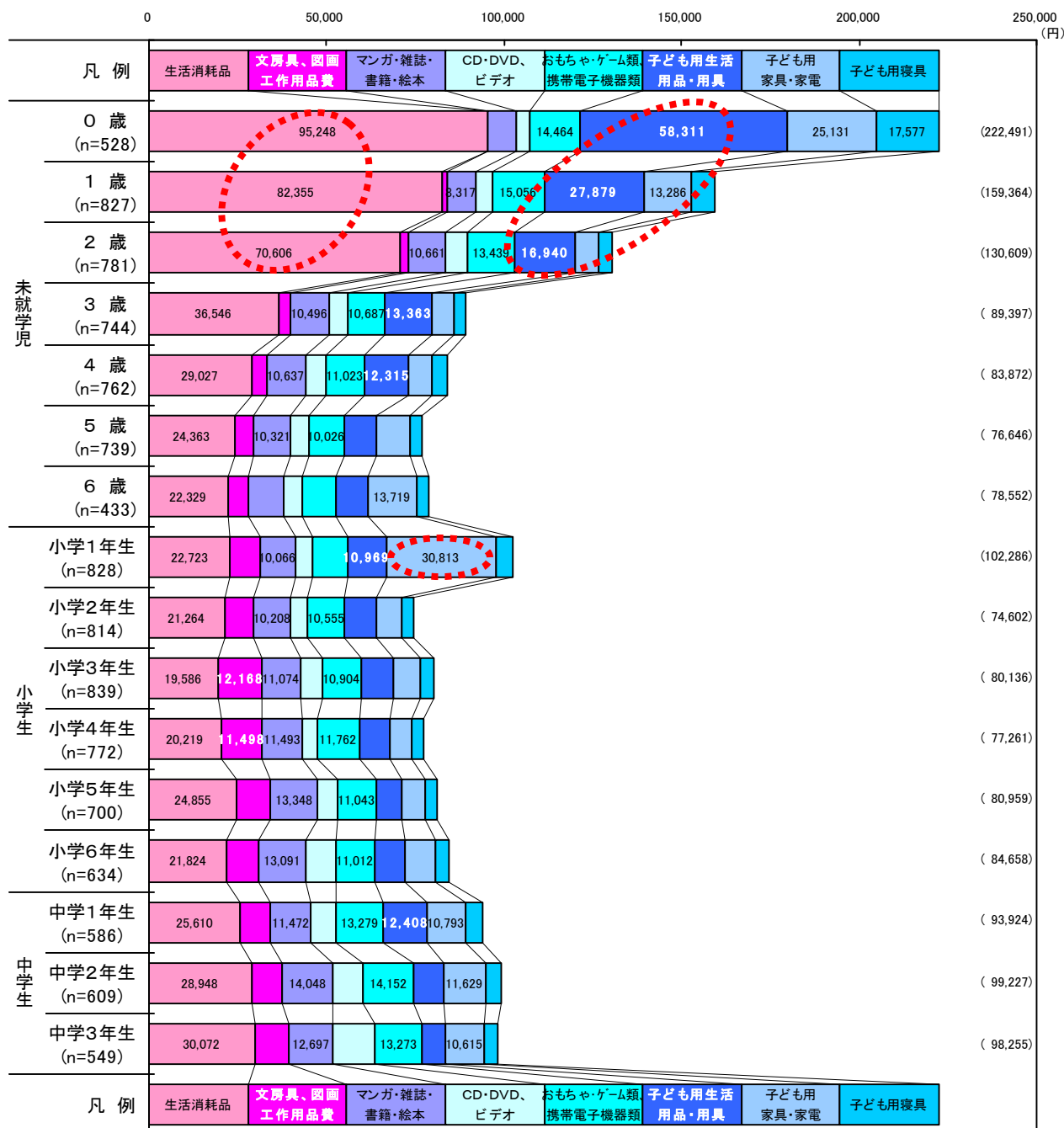
「家庭内での食事代、弁当材料費」「外食費」「おやつ、間食代」は「食費」の小分類目
上記は対象者全体による平均値 グラフ右の()内は第1子にかかった「食費」の年額

(3) 生活用品費

0～2歳の「生活消耗品」の支出額は、他の年齢・学年の子どもの2～3倍になる

- 0～2歳は、おむつやお手拭、ベビーパウダー、石鹸などの「生活消耗品」の支出額が年間約7～9万円で、他の層の年間約2～3万円に比べると大幅に多い。また、この年代(特に0歳)は、哺乳びんやおまる、ベビーカー、チャイルドシートなどの「子ども用生活用品・用具」の支出額も多い。
- 小学1年生は、子ども用ベッドや学習机、本棚、子ども専用の空調・冷暖房器具などの「子ども用家具・家電」の支出額が他の年齢・学年より多い。小学校入学を契機に子ども部屋をしつらえる傾向が考えられるため、子ども用として買い与えたことが影響していると思われる。

図表2-3. 第1子一人当たりの年間「生活用品費」の内訳金額(対象者全体平均)【第1子の年齢・学年別】



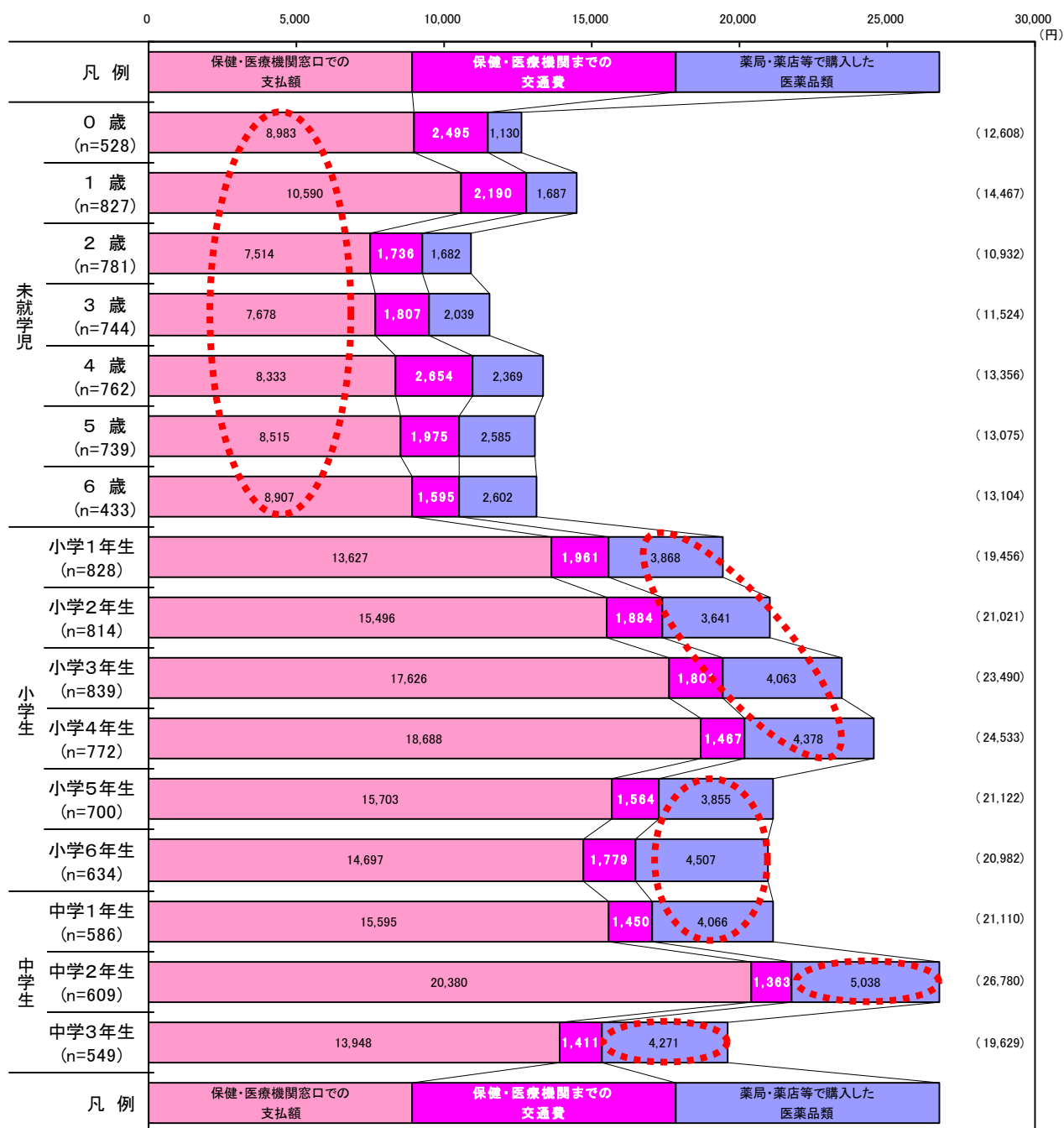
「生活消耗品」「文房具・図画工作用品費」「マンガ・雑誌・書籍・絵本」「CD・DVD、ビデオ」「おもちゃ・ゲーム類、携帯電子機器類」「子ども用生活用品・用具」「子ども用家具・家電」「子ども用寝具」は「生活用品費」の小分類費目
 上記は対象者全体による平均値
 グラフ右の()内は第1子にかかった「生活用品費」の年額

(4) 医療費

「医療費」は、どの年齢・学年とも年間3万円以内となっている

- 「保健・医療機関窓口での支払額」が、未就学児は小学生以上の半分程度の金額になっている。
- 「薬局・薬店等で購入した医薬品類」の支出額が、小学生以上は未就学児に比べて増えている。

図表2-4. 第1子一人当たりの年間「医療費」の内訳金額(対象者全体平均)【第1子の年齢・学年別】



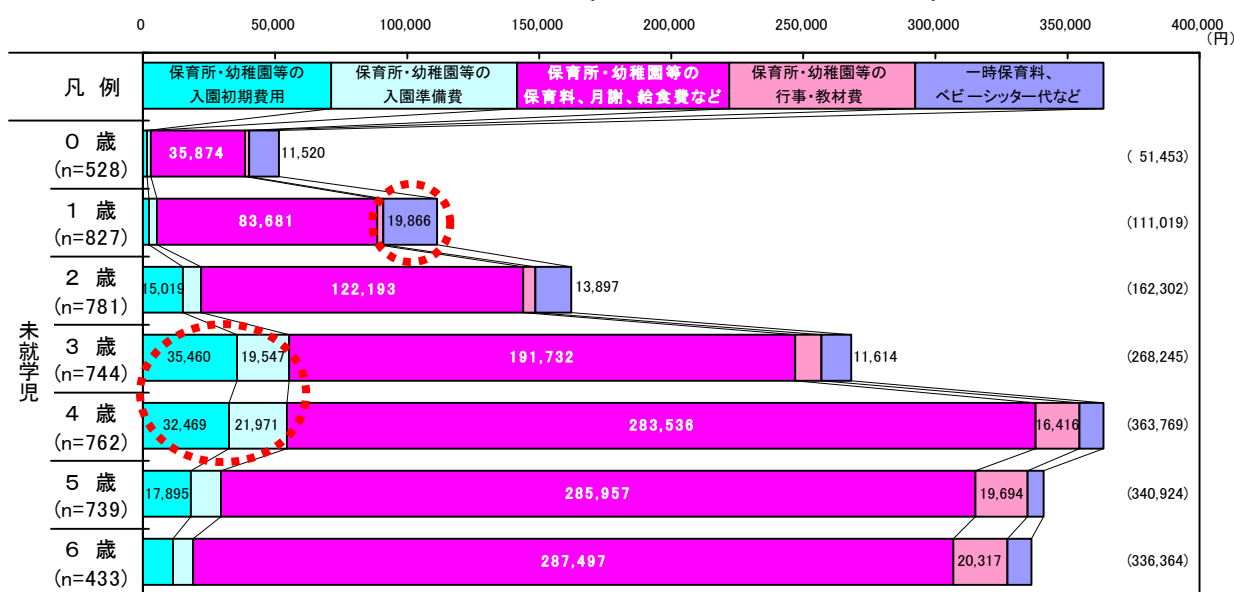
「保健・医療機関窓口での支払額」「保健・医療機関までの交通費」「薬局・薬店等で購入した医薬品類」は「医療費」の小分類目
 上記は対象者全体による平均値 グラフ右の()内は第1子にかかった「医療費」の年額

(5) 保育費 (未就学児の保育費 / 小学生の学童保育費)

保育所・幼稚園等に入園し始める3～4歳には、「入園初期費用・準備費」の支出が発生

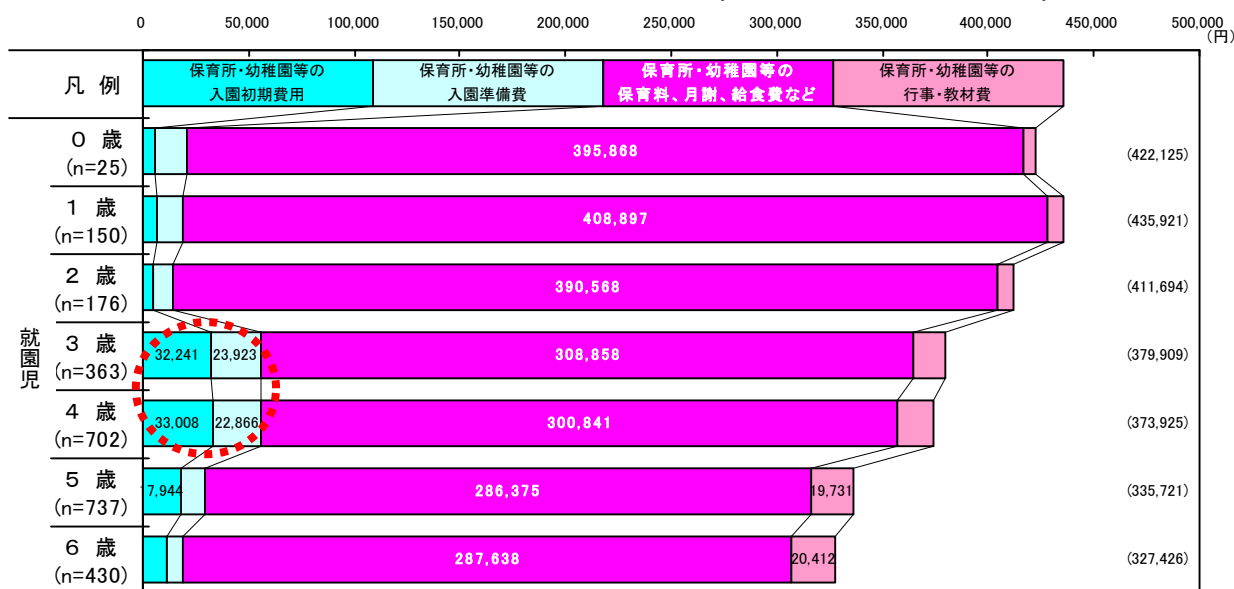
- 保育所・幼稚園等の通園者のみで集計した結果では、3～4歳は「保育所・幼稚園等の入園初期費用」と「保育所・幼稚園等の入園準備費」の支出額が多い。この年齢で入園する割合が高いためと考えられる。
- 「保育所・幼稚園等の保育料、月謝、給食費など」は、3歳で年間約19万円、4歳以上は年間約29万円。
- 「一時保育料、ベビーシッター代など」の支出額が最も多いのは1歳。保育所・幼稚園等の入園者が増える4～6歳は少ない。

図表2-5-1. 第1子一人当たりの年間「保育費」の内訳金額 (未就学児のみ / 対象者全体平均)【第1子の年齢別】



「保育所・幼稚園等の入園初期費用」「保育所・幼稚園等の入園準備費」「保育所・幼稚園等の保育料、月謝、給食費など」「保育所・幼稚園等の行事・教材費」「一時保育料、ベビーシッター代」は「保育費」の小分類費目
 上記は対象者全体による平均値 グラフ右の()内は第1子にかかった「保育費」の年額

図表2-5-2. 第1子一人当たりの年間「保育所・幼稚園等の費用」の内訳金額 (就園児のみで集計 / 該当者平均)【第1子の年齢別】

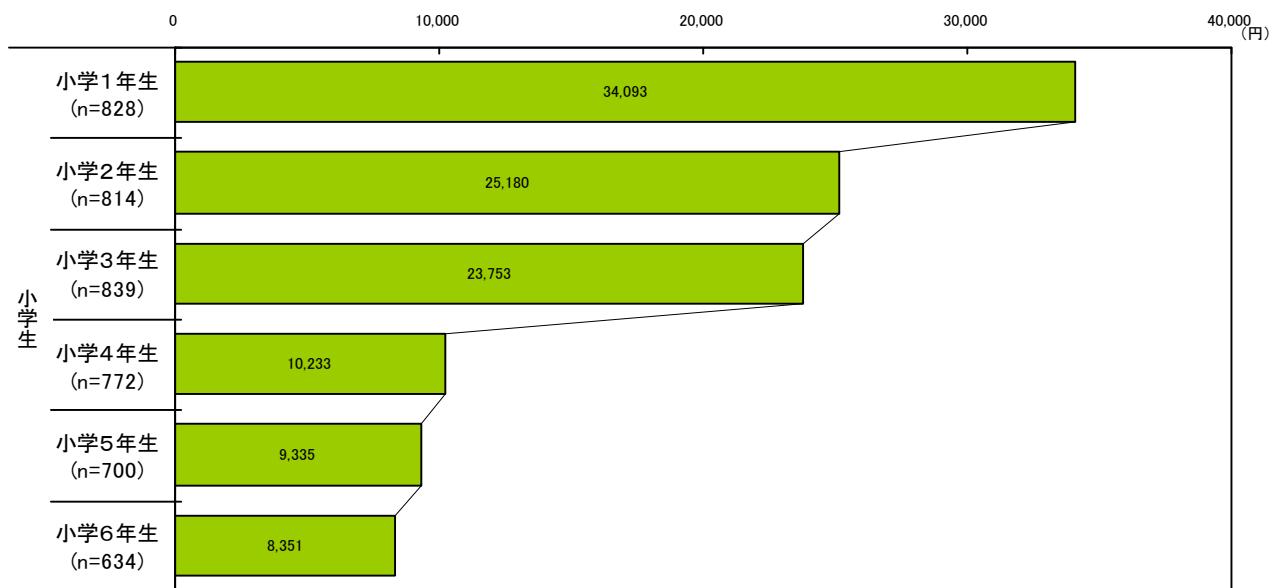


上記は保育所・幼稚園等の通園者のみで集計した平均値
 グラフ右の()内は第1子にかかった「保育所・幼稚園等の費用」の年額

小学生の「学童保育費」は、低学年ほど多い

- 「学童保育費」は小学1年生で最も高く、年間約3万円。
- 学年が上がるにつれて「学童保育費」は低くなり、小学4年生以上では年間約1万円と、小学1年生の3分の1になる。

図表 2-5-3 . 第1子一人当たりの年間「学童保育費」(小学生のみ / 対象者全体平均)【第1子の年齢別】



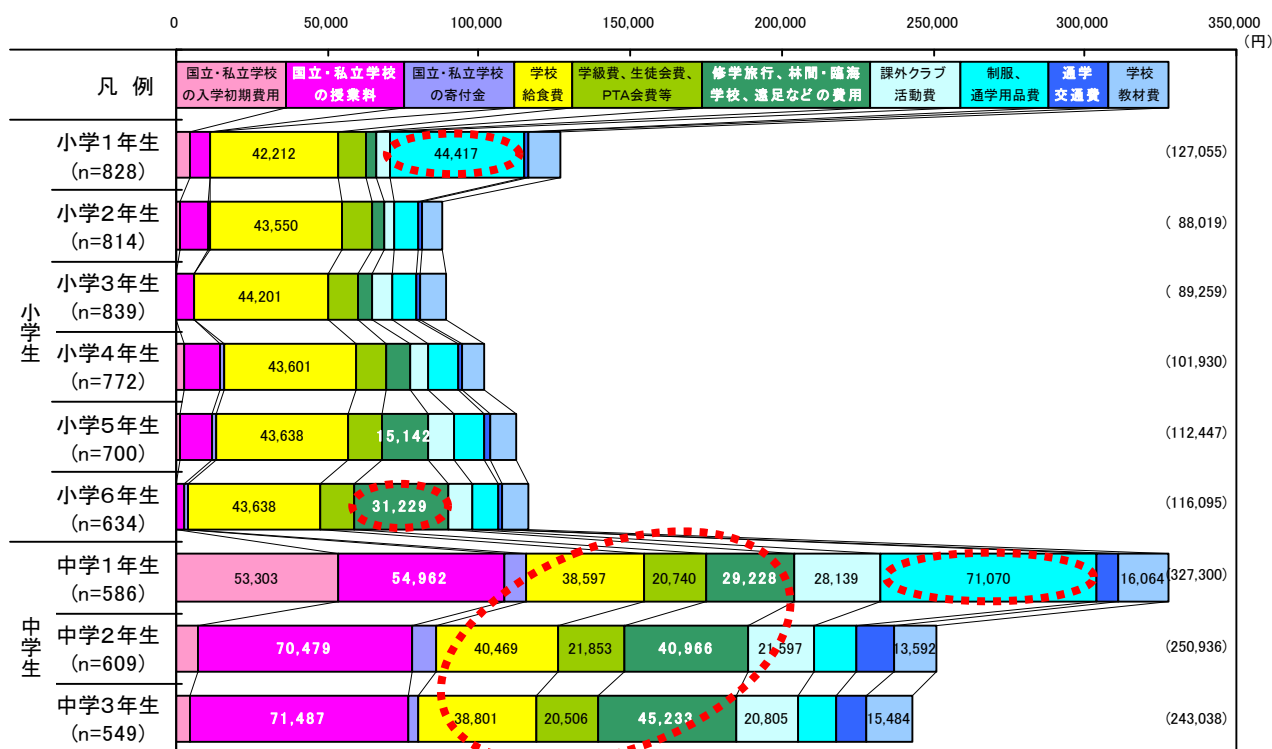
「学童保育費」は「保育費」の小分類費目
上記は小学生の対象者全体による平均値

(6) 学校教育費(小・中学生)

小・中学生とも、入学時に「制服、通学用品費」の負担が発生

- 「制服、通学用品費」は入学したばかりの小学1年生、中学1年生で支出増。中学1年生は小学1年生の約1.6倍。
- 「学校給食費」は小学生・中学生の期間はほぼ一定額で推移。「学級費、生徒会費、PTA会費等」は中学生になると倍増、「課外クラブ活動費」も増大。「修学旅行、林間・臨海学校、遠足などの費用」は、そういった機会が増え、遠方へ出かけるようになる小学6年生から急増。

図表2-6-1. 第1子一人当たりの年間「学校教育費」の内訳金額(小・中学生のみ/対象者全体平均)【第1子の学年別】



「国立・私立学校の入学初期費用」「国立・私立学校の授業料」「国立・私立学校の寄付金」「学校給食費」「学級費、生徒会費、PTA会費等」「修学旅行、林間・臨海学校、遠足などの費用」「課外クラブ活動費」「制服、通学用品費」「通学交通費」「学校教材費」は「学校教育費」の小分類費目
 上記は対象者全体による平均値
 グラフ右の()内は第1子にかかった「学校教育費」の年額

【参考】学校種別にみた第1子一人当たりの年間「学校教育費」の内訳金額（小・中学生のみ/該当者平均）【第1子の学年別】

(円)

		小学 1年生	小学 2年生	小学 3年生	小学 4年生	小学 5年生	小学 6年生	中学 1年生	中学 2年生	中学 3年生
公立学校	調査数	794	768	807	740	663	611	500	524	471
	学校給食費	42,510	44,022	44,366	43,968	43,880	43,817	41,562	44,241	42,494
	学級費、生徒会費、PTA会費等	8,822	9,088	9,240	9,607	10,270	10,673	18,012	19,048	17,776
	修学旅行、林間・臨海学校、遠足などの費用	3,239	3,512	4,313	6,746	14,616	31,016	24,010	35,476	41,155
	課外クラブ活動費	4,277	3,626	6,824	6,301	9,202	8,045	27,417	20,292	20,913
	制服、通学用品費	43,145	7,746	8,040	8,916	9,633	8,190	66,695	12,985	12,238
	通学交通費	716	607	508	670	642	671	1,381	5,023	3,443
	学校教材費	10,126	6,768	8,954	7,399	8,913	8,544	13,689	11,388	14,002
	学校教育費 計	112,836	75,369	82,244	83,606	97,155	110,956	192,767	148,453	152,020
	私立学校	調査数	14	21	13	17	16	10	71	70
国立・私立学校の入学初期費用		241,071	52,381	6,154	117,647	38,750	10,000	419,334	65,171	39,105
国立・私立学校の授業料		334,836	287,271	288,892	498,449	428,364	118,784	442,938	601,745	572,839
国立・私立学校の寄付金		9,286	30,976	11,615	71,177	21,875	51,100	53,155	64,846	28,549
学校給食費		24,590	29,600	39,571	25,518	32,401	28,670	19,439	17,589	16,068
学級費、生徒会費、PTA会費等		8,864	32,900	19,346	13,869	23,465	15,298	31,128	36,089	39,226
修学旅行、林間・臨海学校、遠足などの費用		16,571	8,124	14,977	26,741	26,000	41,900	59,294	80,554	73,660
課外クラブ活動費		3,444	1,143	4,354	6,588	3,463	7,000	33,892	32,004	22,397
制服、通学用品費		72,241	10,659	15,375	34,220	20,073	7,165	100,261	21,964	14,872
通学交通費		21,100	16,015	13,606	32,033	19,571	28,900	48,538	66,952	51,470
学校教材費		20,113	11,492	13,319	12,900	14,011	10,400	33,298	31,615	25,827
学校教育費 計		752,116	480,562	427,209	839,141	627,972	319,217	1,241,276	1,018,528	884,012
国立学校		調査数	17	24	19	15	20	12	15	15
	国立・私立学校の入学初期費用	21,909	6,792	1,579	4,667	4,900	2,500	97,540	333	1,091
	国立・私立学校の授業料	45,844	46,486	45,034	30,274	41,617	42,699	50,621	53,287	78,727
	国立・私立学校の寄付金	9,118	11,858	8,237	4,467	19,216	7,000	42,067	10,267	14,818
	学校給食費	40,131	41,632	40,376	45,987	46,603	45,587	30,456	15,487	19,146
	学級費、生徒会費、PTA会費等	18,895	14,903	18,263	28,093	26,345	32,767	62,493	53,384	23,406
	修学旅行、林間・臨海学校、遠足などの費用	11,529	2,221	12,693	16,440	23,461	33,250	60,866	47,987	46,709
	課外クラブ活動費	1,412	2,396	1,463	6,471	7,364	917	24,957	18,620	6,500
	制服、通学用品費	45,547	6,814	7,186	16,658	13,298	12,833	78,715	7,157	9,105
	通学交通費	11,490	9,958	14,332	3,069	14,241	13,700	24,215	35,933	20,727
	学校教材費	13,361	8,395	6,822	14,252	9,013	14,917	13,661	6,478	15,927
	学校教育費 計	219,235	151,455	155,984	170,377	206,057	206,169	485,592	248,932	236,156

注：私立小学校および国立小・中学校は調査数が少ないため、参考値として掲載

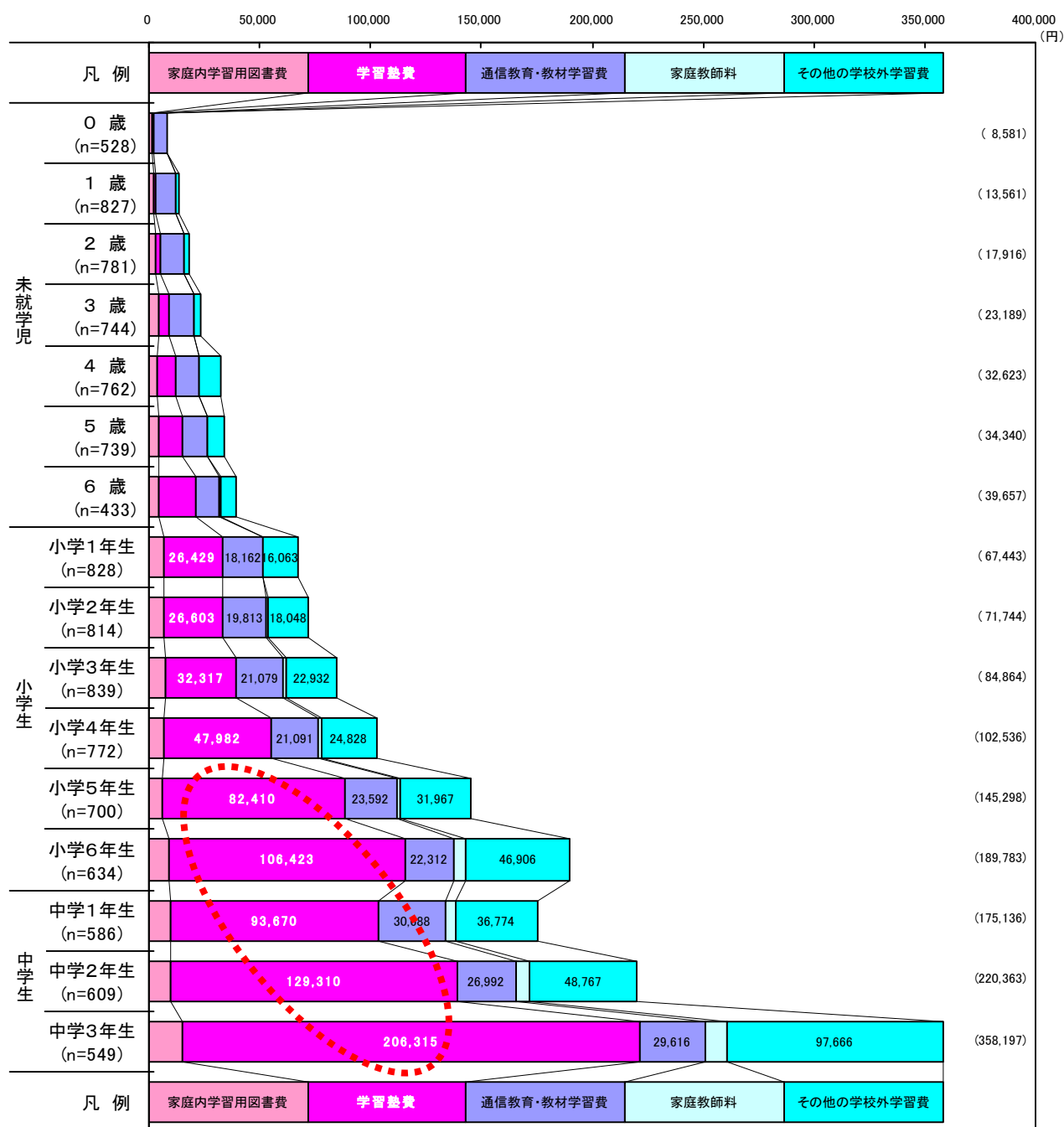
上記は第1子にかかった金額
上記は公立・私立・国立学校それぞれの通学者全体による平均値

(7) 学校外教育費

中学3年生は「学習塾費」の負担が大きく、年間約20万円を支出

- 「学校外教育費」は小学1年生から支出が目立ち始め、中学受験を控えた子どもも出てくる小学5～6年生で多くなる。
- さらに高校受験前の中学3年生で支出額が最も多くなる。それぞれ「学習塾費」の支出が増えることが主な要因。

図表2-7. 第1子一人当たりの年間「学校外教育費」の内訳金額(対象者全体平均)【第1子の年齢・学年別】



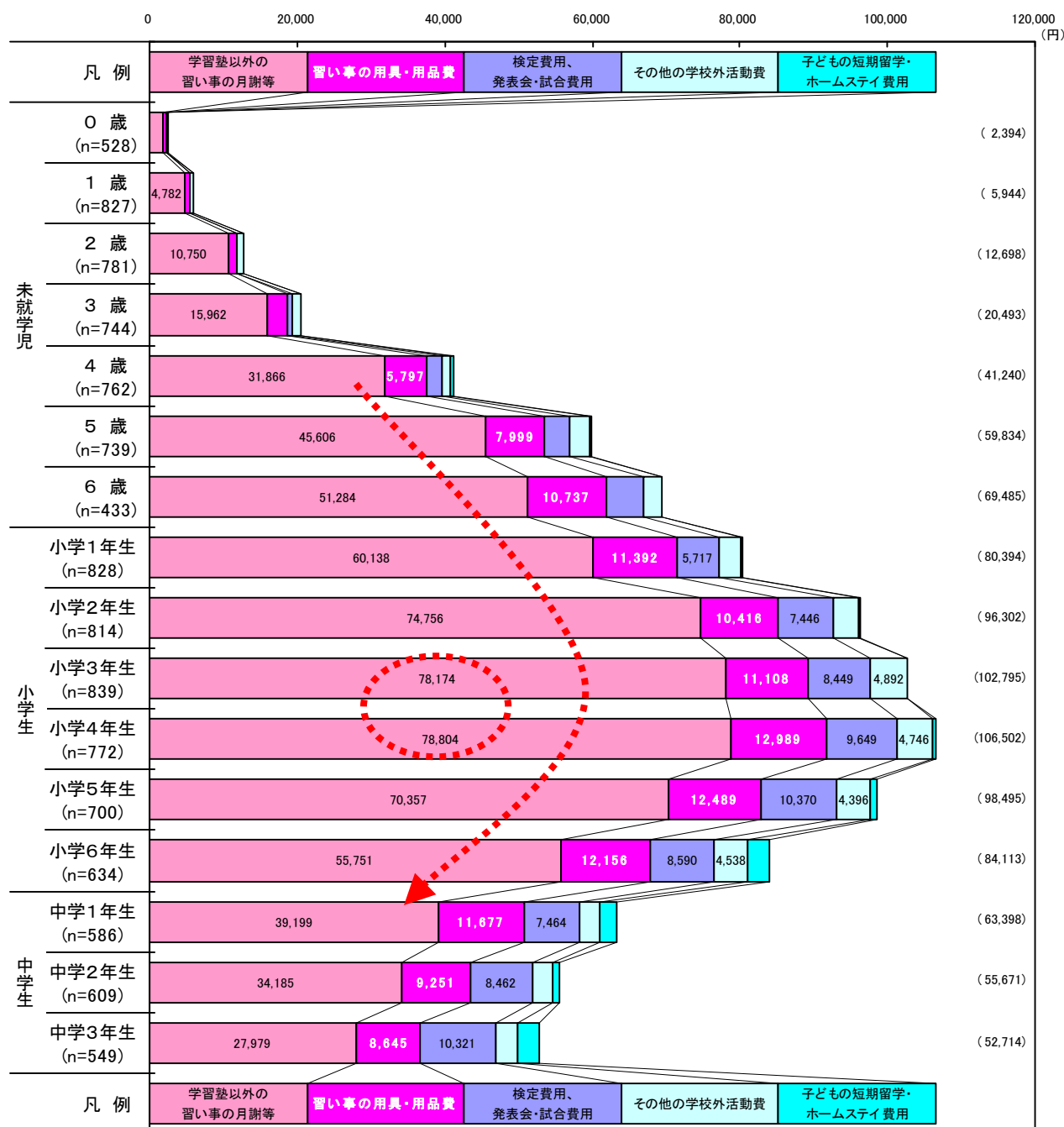
「家庭内学習用図書費」「学習塾費」「通信教育・教材学習費」「家庭教師料」「その他の学校外学習費」は「学校外学習費」の小分類費目
 上記は対象者全体による平均値 グラフ右の()内は第1子にかかった「学校外学習費」の年額

(8) 学校外活動費

「習い事関連」の支出額が多いのは、小学3～4年生

- 「学校外活動費」は4歳頃から「学習塾以外の習い事の月謝等」の支出が多くなり始め、小学4年生をピークに以降は減少。
- 支出ピーク時の小学3～4年生の「学習塾以外の習い事の月謝等」は年間約8万円で、中学生の2倍以上となっている。

図表2-8. 第1子一人当たりの年間「学校外活動費」の内訳金額(対象者全体平均)【第1子の年齢・学年別】



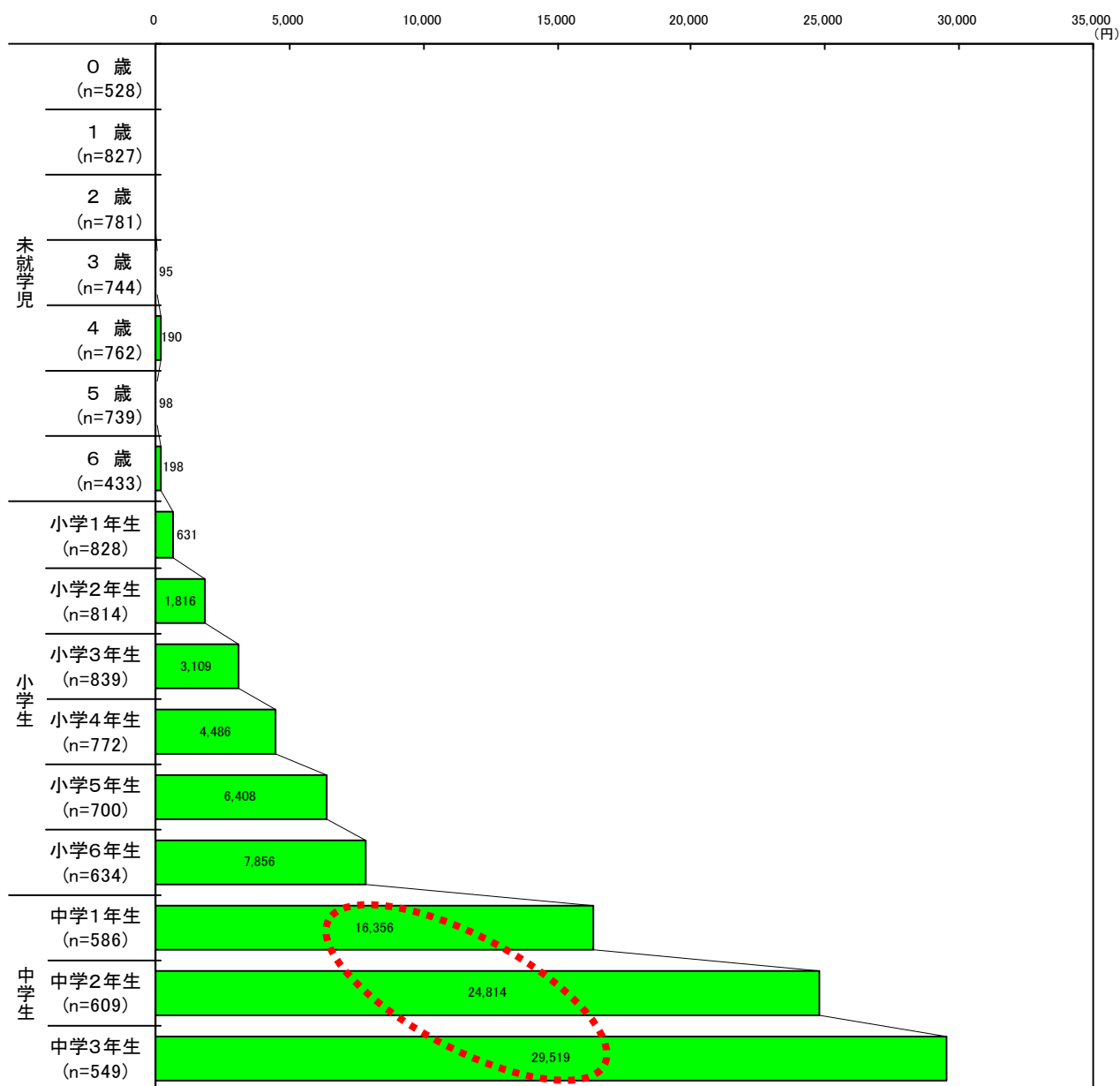
「学習塾以外の習い事の月謝等」「習い事の用具・用品費」「検定費用、発表会・試合費用」「その他の学校外活動費」「子どもの短期留学・ホームステイ費用」は「学校外活動費」の小分類費目
 上記は対象者全体による平均値
 グラフ右の()内は第1子にかかった「学校外活動費」の年額

(9) 子どもの携帯電話料金

「子どもの携帯電話料金」は、中学生の支出額が多い

- 「子どもの携帯電話料金」は、小学生以上で学年が上がるにつれて支出額も多くなる。
- 特に中学生になると年間1万円を超え、中学3年生では年間約3万円となる。

図表 2-9. 第1子一人当たりの年間「携帯電話料金」の金額 (対象者全体平均)【第1子の年齢・学年別】



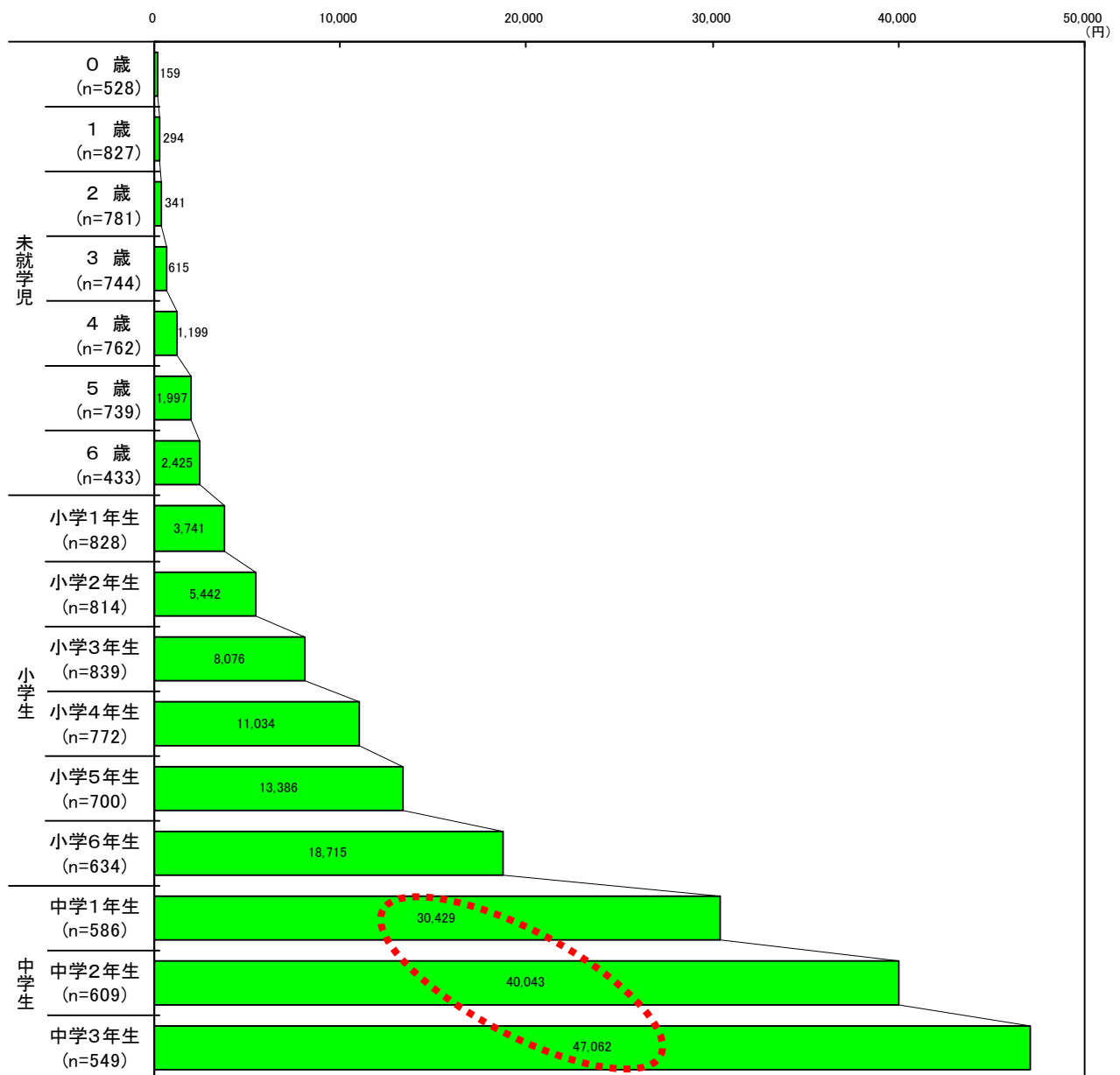
上記は対象者全体による平均値

(10) おこづかい

「おこづかい」は、中学生の支出額が多い

- 「おこづかい」は、年齢・学年が上がるにつれて支出額も多くなる。
- 特に中学生になると年間3万円を超え、中学3年生では年間5万円弱となる。

図表 2-10 . 第1子一人当たりの年間「おこづかい」の金額(対象者全体平均)【第1子の年齢・学年別】



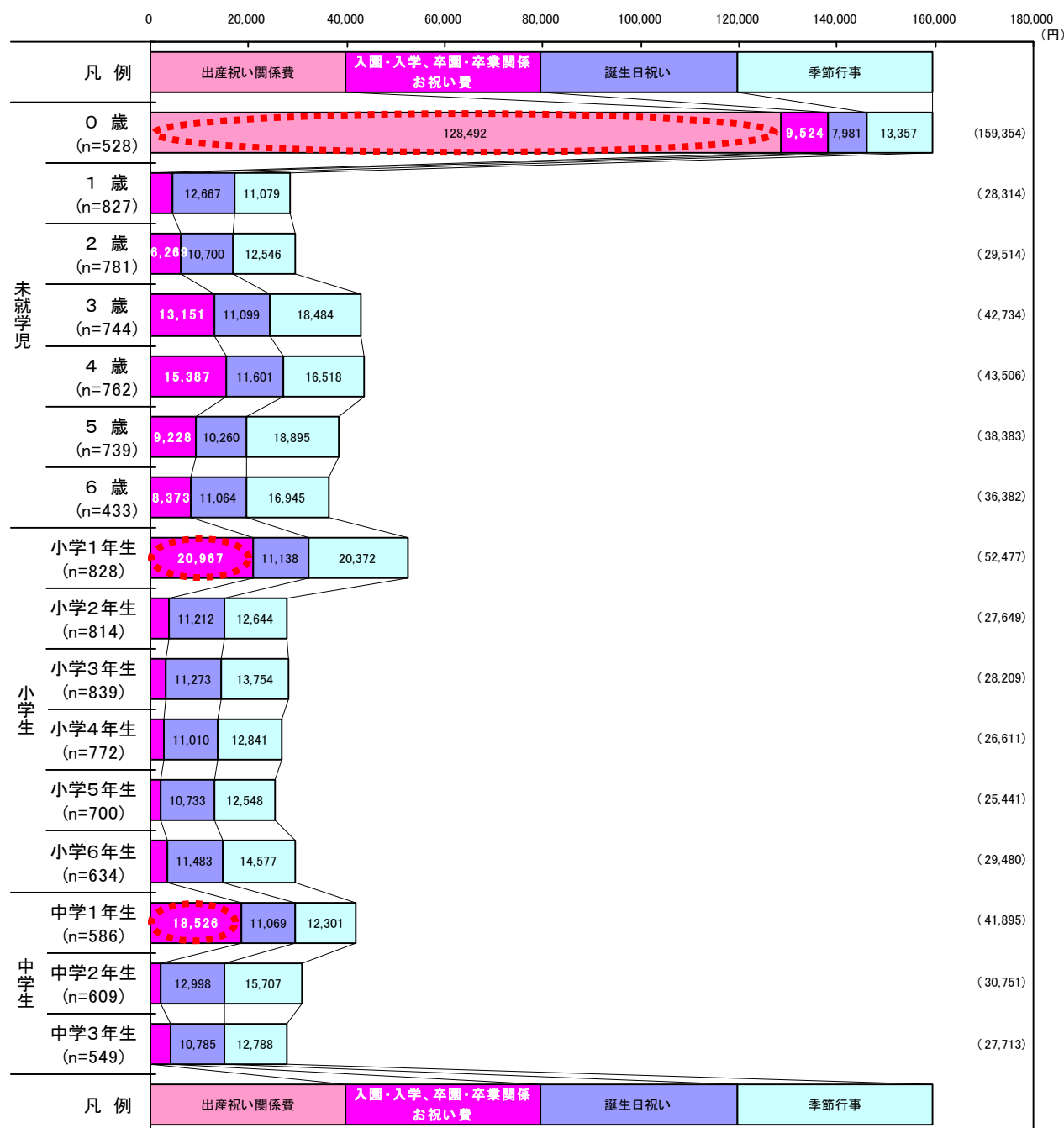
上記は対象者全体による平均値

(11) お祝い行事関係費

0歳は「出産祝い関係」、3～4歳と小・中1年生は「入園・入学祝い関係」の支出額が多い

- 0歳は、内祝い（出産祝い返し）やお宮参り費用などの「出産祝い関係費」に年間約13万円を支出。
- 「入園・入学、卒園・卒業祝い関係お祝い費」は、入園する年頃の3～4歳、入学した小学1年生、中学1年生で他の年齢・学年より支出額が多い。
- 「誕生日祝い」の支出額は、年齢・学年に関係なくほぼ一定額で推移。
- 「季節行事」の支出額は、七五三の年齢でやや多い。

図表2-11. 第1子一人当たりの年間「お祝い行事関係費」の内訳金額（対象者全体平均）【第1子の年齢・学年別】



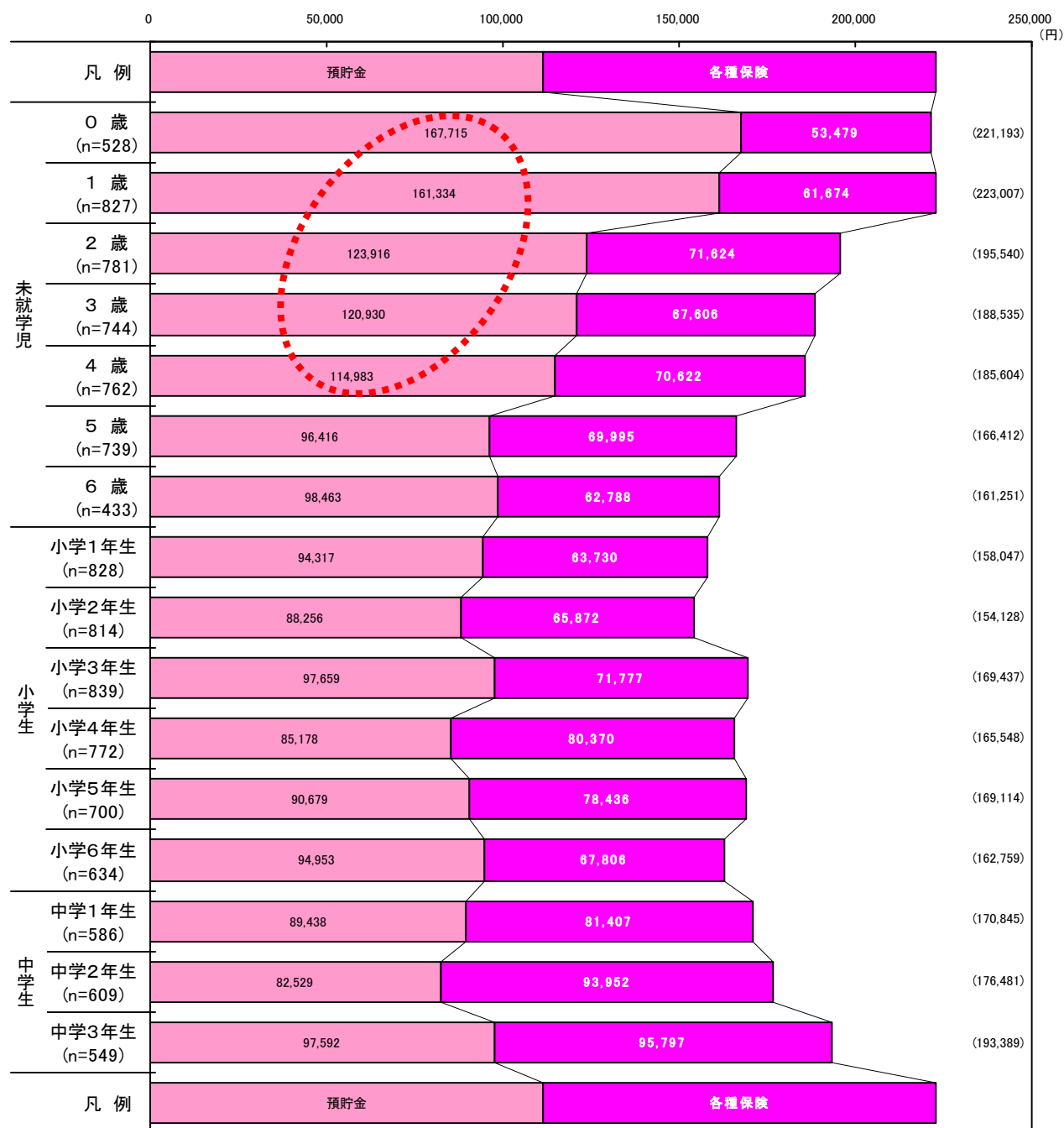
「出産祝い関係費」「入園・入学、卒園・卒業関係お祝い費」「誕生日祝い」「季節行事」は「お祝い行事関係費」の小分類費目
 上記は対象者全体による平均値 グラフ右の()内は第1子にかかった「お祝い行事関係費」の年額

(12) 子どものための預貯金・保険

「預貯金」は乳幼児ほど多く、「各種保険」は子どもの年齢・学年が上がるほど多い

- 「預貯金」は0歳が最も多く、年間約17万円。1～4歳は年間10万円を超えているが、5歳以上は年間9万円前後となる。子どもの誕生を契機に、将来の保育料や教育費などに充てる目的で貯蓄を始めるとみられる。
- 学資保険や共済などの「各種保険」は、子どもの年齢・学年が上がるほど支出額も多くなる傾向がみられる。高校・大学進学に向けての教育費などに充てる目的が考えられる。

図表2-12. 第1子一人当たりの年間「子どものための預貯金・保険」の内訳金額(対象者全体平均)【第1子の年齢・学年別】



「預貯金」「各種保険」は「子どものための預貯金・保険」の小分類費目

上記は対象者全体による平均値

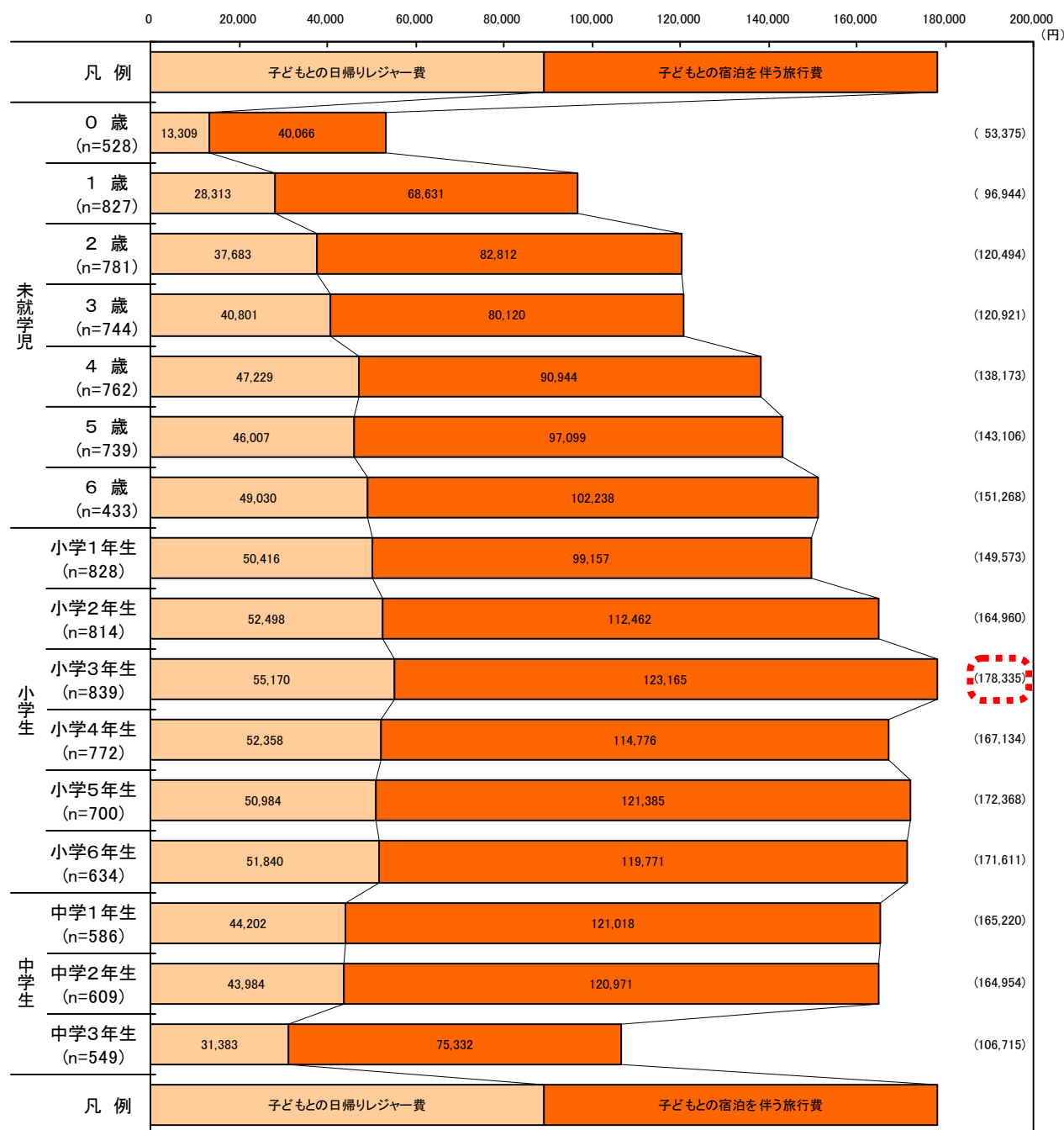
グラフ右の()内は第1子にかかった年間「子どものための預貯金・保険」の年額

(13) レジャー・旅行費

「レジャー・旅行費」は小学3年生が最も多く、年間約18万円

- 「レジャー・旅行費」の内訳では、どの年齢・学年も「子どもとの日帰りレジャー費」よりも「子どもとの宿泊を伴う旅行費」の支出額の方が多い。
- 「子どもとの宿泊を伴う旅行費」は、小学2年生から中学2年生で10万円を超えている。また、「子どもとの日帰りレジャー費」は、3歳から中学2年生で4万円を超えている。

図表2-13. 第1子一人当たりの年間「レジャー・旅行費」の内訳金額（対象者全体平均）【第1子の年齢・学年別】



「子どもとの日帰りレジャー費」「子どもとの宿泊を伴う旅行費」は「レジャー・旅行費」の小分類費目
 上記は対象者全体による平均値 グラフ右の()内は第1子にかかった「レジャー・旅行費」の年額

3. 特定費目についての分析

検討会では子育て費用のうち、子どもの年齢・学年による支出額の変動が大きい、または特定の年齢・学年で支出が高額になる費目を抜粋して、考察を行った。

子どもの年齢・学年による支出額の変動が大きい、または特定の年齢・学年で支出が高額になる費目(中分類)は下記のとおり。

食費：子どもの年齢・学年が上がるにつれて支出額が多くなり、特に中学生では年間 30 万円を超える。

生活用品費：0歳で年間 20 万円を超え、1～2歳は年間 10 万円以上を支出。

保育費：未就学児、特に 4～6歳で年間 30 万円を超える。

学校教育費：小学生は年間 10 万円台だが、中学生は年間約 25～33 万円となる。

学校外教育費：小学校 4 年生で年間 10 万円を超える。以降、学年が上がるにつれて支出額が多くなり、中学 3 年生では年間約 36 万円。

学校外教育費の大半を占める支出費目(小分類)は「学習塾費」。

学校外活動費：4歳から支出額が大きくなり始め、小学校 3～4 年生の年間 10 万円台がピーク。

学校外活動費の大半を占める支出費目(小分類)は「学習塾以外の習い事の月謝等」。

このうち「食費」は、子どもの年齢・学年が上がるにつれて体格が大きくなり、活動量も増えるためと考えられる。

その他の費目はそれぞれ固有の背景が考えられるため、以下の費目について注目し、分析を行った。

0～2歳で支出が大きい「生活用品費」

未就学児で支出が大きい「保育費」

中学生で支出が大きい「学校教育費」

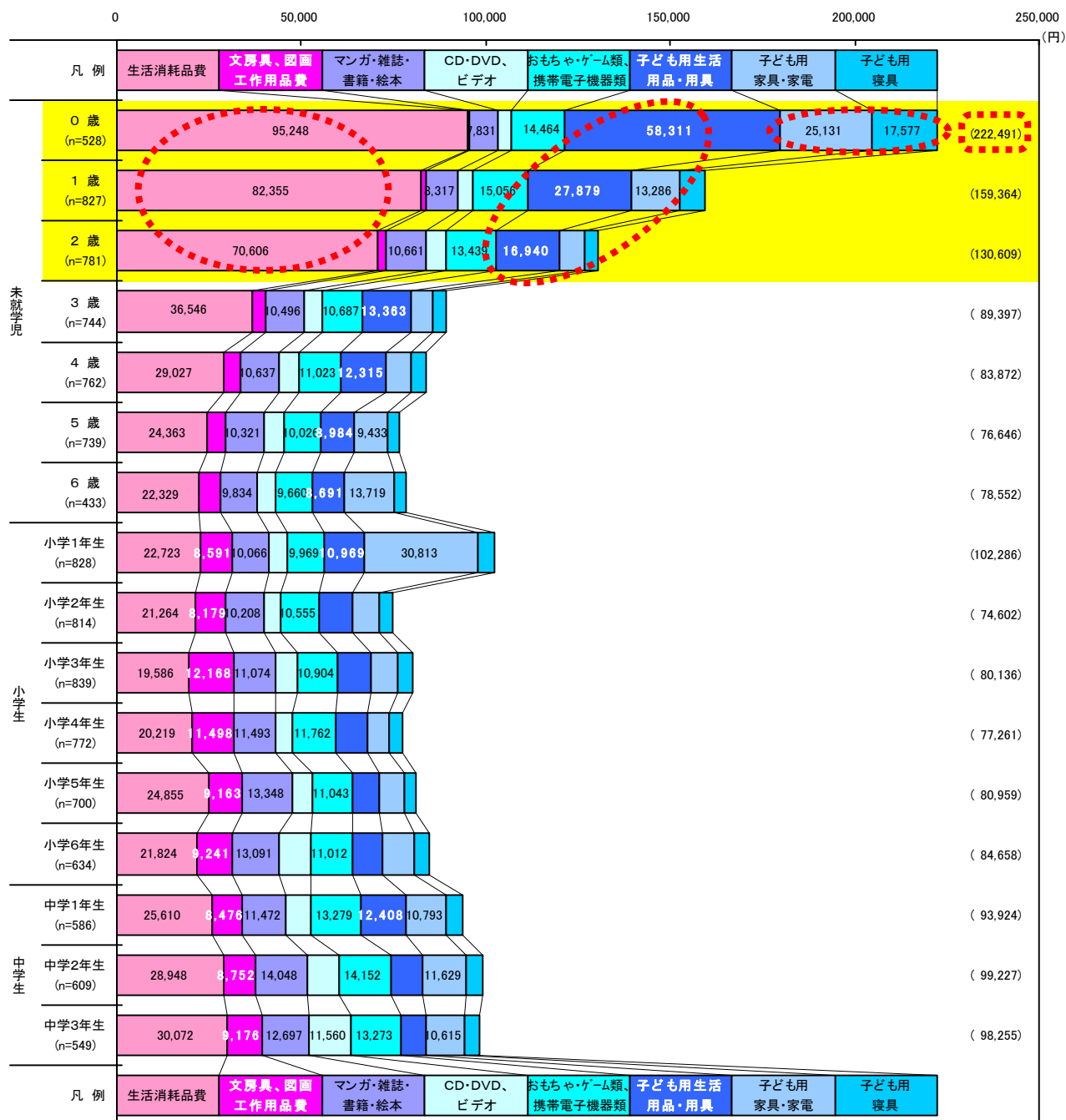
年齢・学年で支出の変動が大きい「学習塾費」と「習い事等の月謝」

(1) 0～2歳で支出が大きい「生活用品費」

0～2歳児の「生活消耗品費」は、小学生の約3～4倍強

- 0～2歳は、おむつやお手拭、ベビーパウダー、石鹸などの「生活消耗品」の支出額が他の年齢・学年に比べて多い。小学生平均を2万円とすると、0歳は約4.8倍、1歳は約4.1倍、2歳は約3.5倍となる。
- 0～2歳(特に0歳)は、哺乳びんやおまる、ベビーカー、チャイルドシートなどの「子ども用生活用品・用具」の支出額も他の年齢・学年に比べて多い。
- さらに0歳は、「子ども用家具・家電」「子ども用寝具」の支出額も多い。よって0歳は一人当たりの「生活用品費」支出額が最も多く、年間約22万円となる。

図表3-1. 第1子の年齢・学年別にみた第1子一人当たりの「生活用品費」年間支出額(対象者全体平均)



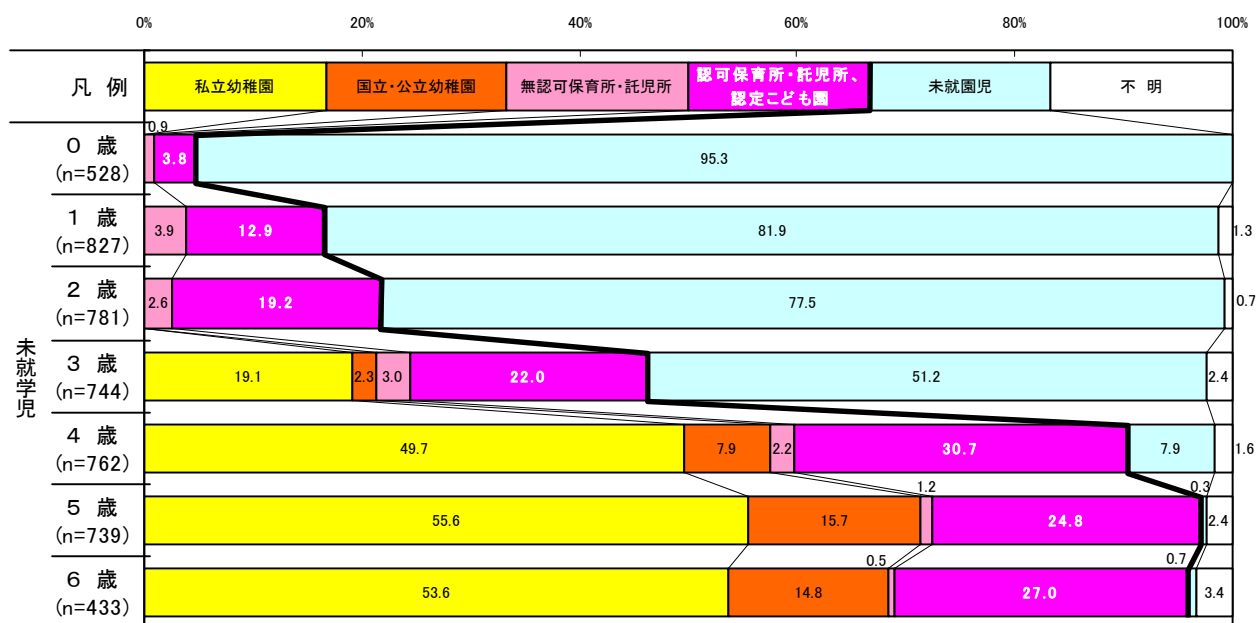
上記は第1子にかかった金額で、未就学児は1歳階級の年齢ごとに、小・中学生は1学年ごとに集計
 上記は対象者全体による平均値
 グラフ右の()内は第1子にかかった「生活用品費」の年額

(2) 未就学児で支出が大きい「保育費」

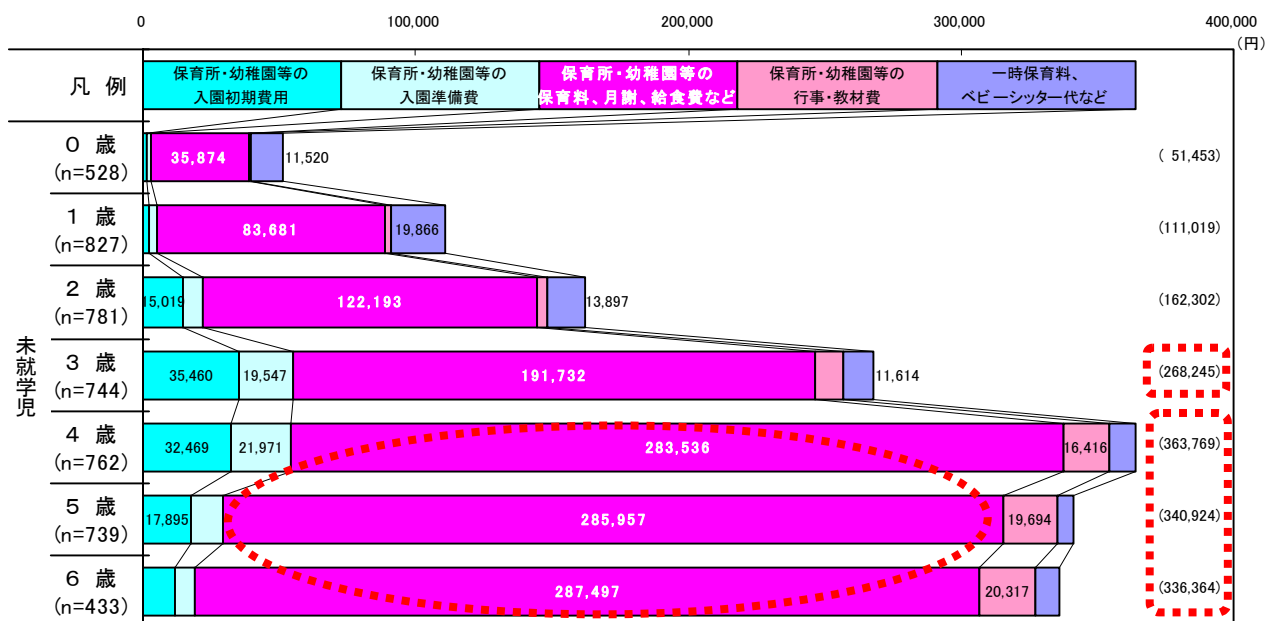
保育所・幼稚園等の通園率が高くなる3歳から「保育費」が多くなる

- 未就学児の保育所・幼稚園等への通園状況を見ると、0～2歳は「未就園児」が大半を占める。3歳で通園率が5割弱となり、4～6歳では通園率が9割を超える。
- 「保育費」の支出額は保育所・幼稚園等の通園率が半数近くとなる3歳から高くなり始め、通園率が9割を超える4～6歳では年間30万円台となっている。
- 4～6歳では通園率が上がるため、毎月支払う「保育所・幼稚園等の保育料、月謝、給食費など」が高額になっている。

図表 3-2-1. 第1子の年齢別にみた第1子の保育所・幼稚園等の通園状況



図表 3-2-2. 第1子の年齢別にみた第1子一人当たりの「保育費」年間支出額（対象者全体平均）

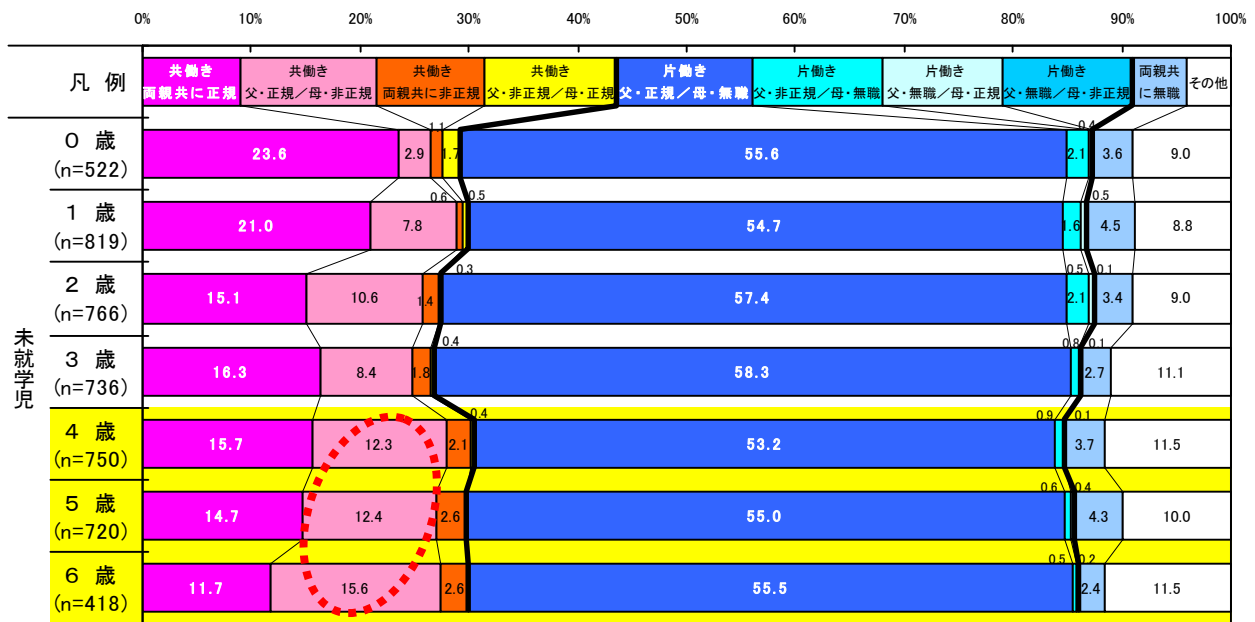


上記は第1子にかかった金額
 上記は対象者全体による平均値
 グラフ右の()内は第1子にかかった「保育費」の年額

**4～6歳は共働き世帯の割合がやや高くなるが、母親は非正規雇用になる割合が増加
共働きは片働きに比べて「保育費」が多いが、親の雇用形態による支出額の差は少ない**

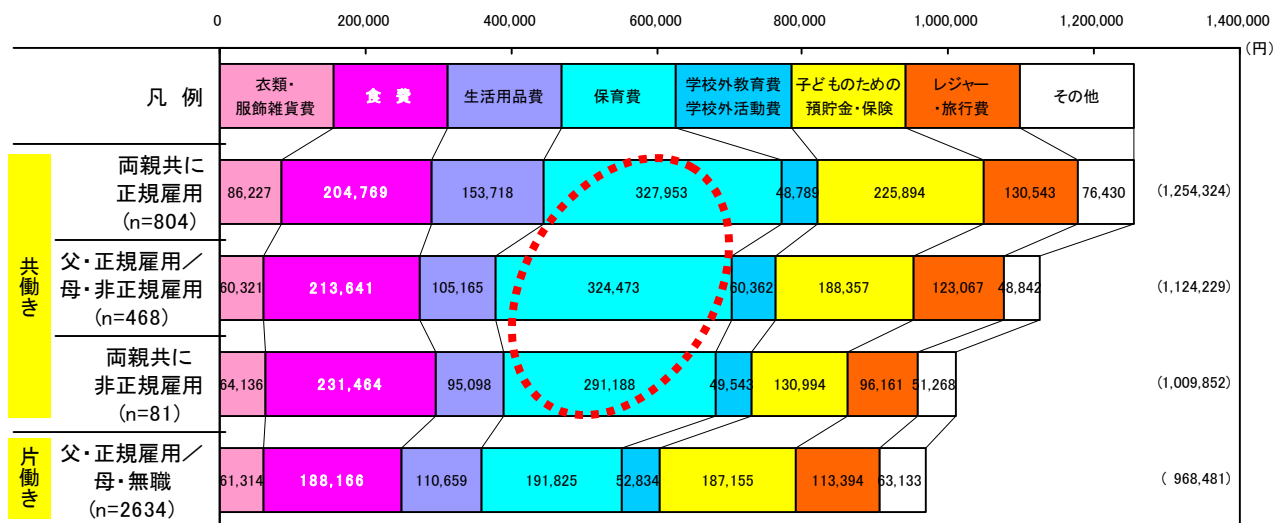
- 未就学児の両親の雇用のタイプは、第1子が3歳から4歳になると「共働き」の割合が少し高くなる。「共働き」で「両親とも正規雇用」の割合は低くなるが、「父・正規雇用/母・非正規雇用」の割合は高くなり、1割を超える。
- 親の雇用のタイプ別に未就学児一人当たりの年間子育て費用額をみると、共働き世帯は片働き世帯に比べて「保育費」が多く、年間30万円前後。しかし、親が正規雇用か非正規雇用かにかかわらず金額に大きな差がないことから、親が非正雇用の世帯における「保育費」の家計負担は比較的大きいとみられる。

図表3-2-3. 第1子の年齢別にみた両親の雇用のタイプ（両親ありのみ）



「その他」は、両親共にまたはどちらかが「会社経営者・役員」「自営業主」「自営業の家族従業員」など

図表3-2-4. 親の雇用のタイプ別にみた「未就学児」一人当たりの年間子育て費用額（両親ありのみ/対象者平均）



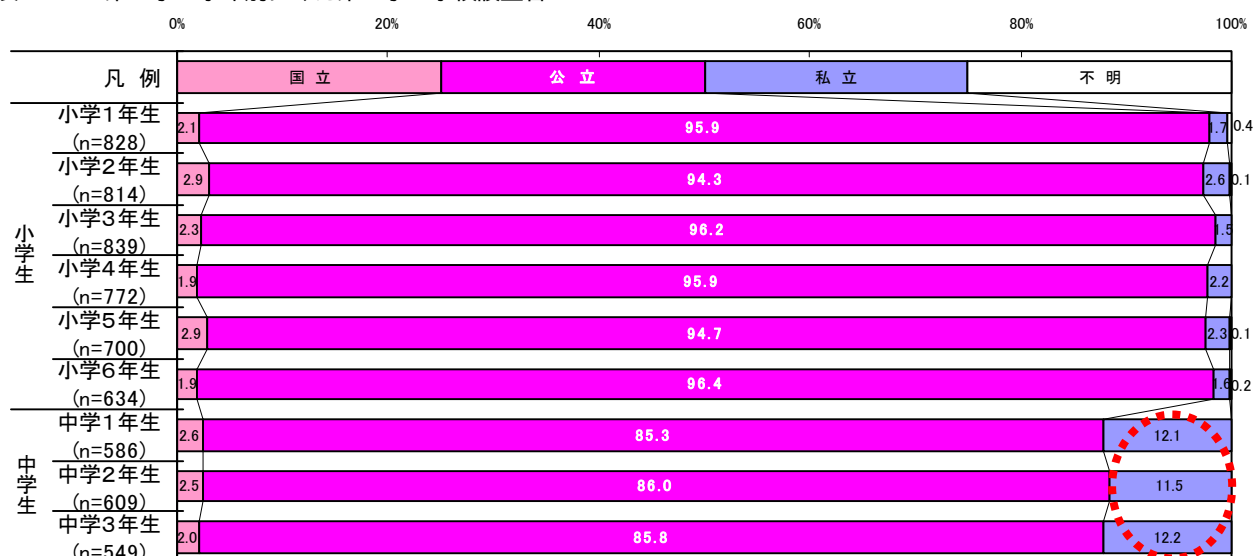
上記は第1子にかかった金額
上記は両親がいる未就学児全体による平均値
グラフ右の()内は第1子にかかった年間子育て費用総額

(3) 中学生で支出が大きい「学校教育費」

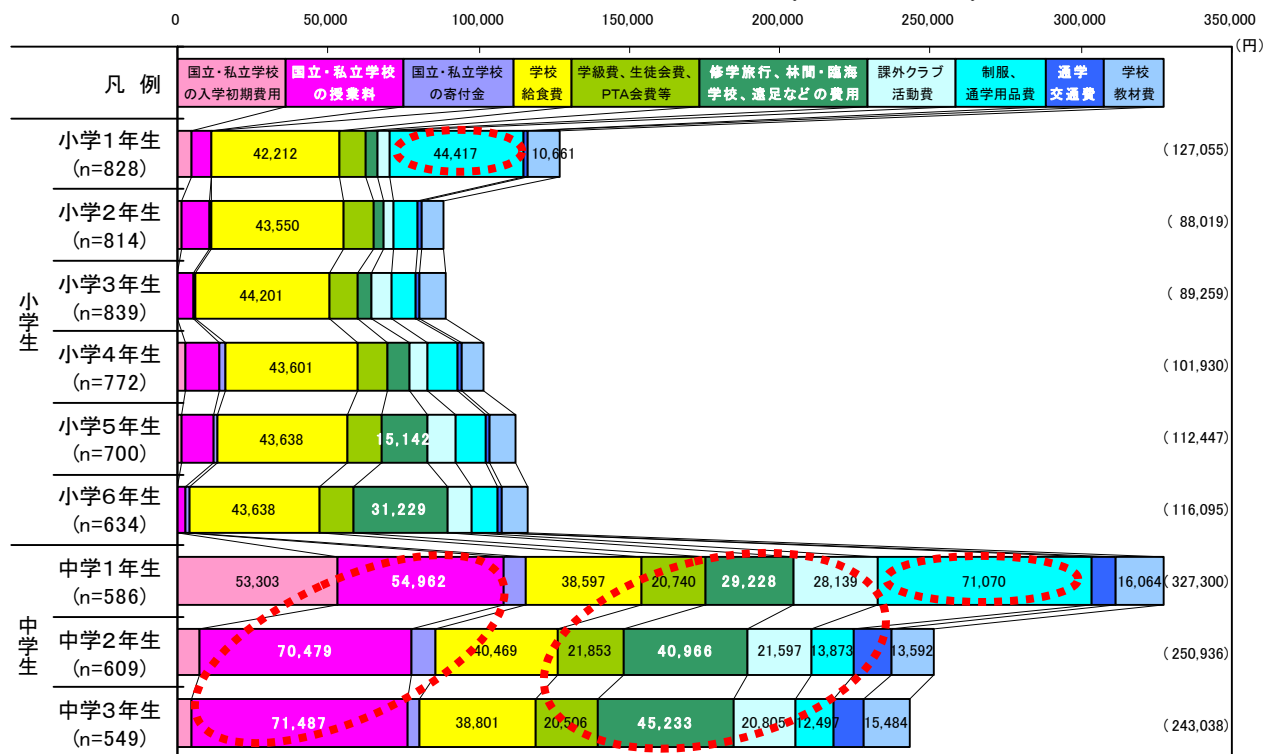
中学生は小学生に比べ、私立授業料等に加えて、授業料等以外にかかる学校教育費も多くなる

- 第1子の通学先をみると、小学生は「公立学校」が9割強。中学生は「公立学校」が8割強となり、「私立学校」が1割を超える。「国立学校」の割合は小・中学生ともに低い。
- 「学校教育費」は中学生で高額になるが、私立学校の割合が高くなることが要因の一つと思われる。
- 小分類で特徴がみられるのは「制服、通学用品費」で、小学1年生、中学1年生での支出額が他の学年より多い。しかも中学1年生は小学1年生の約1.6倍になっている。
- 小学生に比べると、中学生は「学級費、生徒会費、PTA会費等」「修学旅行、林間・臨海学校、遠足などの費用」「課外クラブ活動費」の支出額が多くなっている。

図表 3-3-1. 第1子の学年別にみた第1子の学校設置者



図表 3-3-2. 第1子の学年別にみた第1子一人当たりの「学校教育費」支出額 (対象者全体平均)



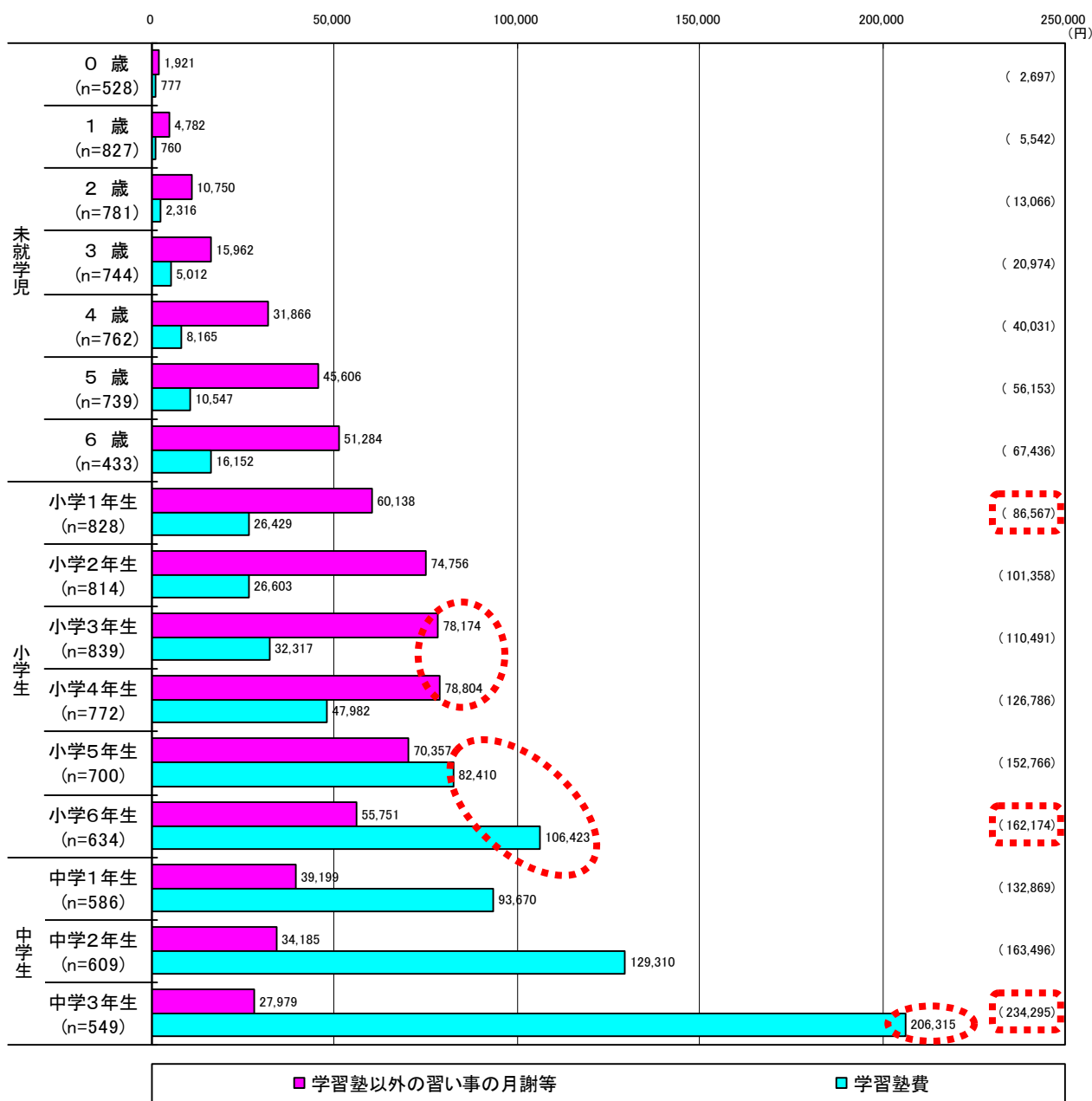
上記は第1子にかかった金額
上記は対象者全体による平均値
グラフ右の()内は第1子にかかった「学校教育費」の年額

(4) 年齢・学年で支出の変動が大きい学校外活動費(習い事の月謝等)と学校外教育費(学習塾費)

習い事の月謝等は小学3～4年生、学習塾費は小学5～6年生・中学3年生で支出額が高い

- 「学習塾以外の習い事の月謝等」の支出額は4歳頃から多くなり始め、小学3年生の年間78,174円、小学4年生の年間78,804円をピークに以降は減少。
- 「学習塾費」の支出額は小学1年生から多くなり始め、中学受験を控えた子どもも出てくる小学5～6年生で急増。次いで高校受験前の中学3年生で一気に高額となり、一人当たり年間206,315円となる。
- 「学習塾以外の習い事の月謝等」と「学習塾費」の一人当たり合計額は、小学1年生で年間86,567円、小学6年生では約1.9倍の年間162,174円、中学3年生では約2.7倍の年間234,295円となる。

図表3-4. 第1子の年齢・学年別にみた第1子一人当たりの「習い事の月謝等」と「学習塾費」支出額(対象者全体平均)



上記は第1子にかかった金額
 上記は対象者全体による平均値
 グラフ右の()内は第1子にかかった「学習塾以外の習い事の月謝等」と「学習塾費」の合計支出額(年額)